

愛知県春日井保健所

# 事業概要

令和5年度



# 目 次

## 第1 保健所の概要

1	沿革	1
2	組織及び業務	2
3	職員数	4
4	決算	5
5	その他	6

## 第2 管内の概況

1	管内の状況	10
2	管内の課題	12

## 第3 令和5年度事業計画

主要事業の概要	15
---------	----

## 第4 令和4年度事業実績

主要事業の概要	20
1 各課関連の事業	27
2 総務企画課の事業	30
3 生活環境安全課の事業	49
4 食品安全課の事業	60
5 健康支援課の事業	69

# 第 1 保健所の概要

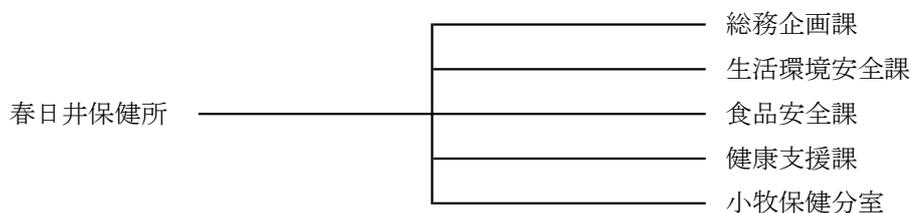
# 1 沿 革

昭和19年10月 1日	旧勝川町役場(春日井市味美町)の建物の一部を借り受け開所
昭和26年 9月19日	新庁舎(春日井市八幡町1の3)に移転
昭和27年 2月19日	課制(総務課・衛生課・保健予防課)を実施
昭和32年 5月 1日	守山支所開所(守山市大字守山茶臼12番地)
昭和33年 9月18日	小牧支所開所(小牧市大字小牧1867番地の5)
昭和38年 2月14日	守山支所閉所(昭和38年2月15日守山市が名古屋市に合併)
昭和38年 7月22日	飼犬管理指導所開所(春日井市坂下町4丁目228番地)
昭和42年 5月10日	保健所全面改築により現在地(春日井市柏井町2丁目31番地)に移転
昭和47年 8月31日	小牧支所閉所(昭和47年9月1日小牧保健所開所)
昭和48年 4月 1日	環境保全課を新設
昭和50年 3月29日	試験検査棟を増築
昭和51年 4月 1日	衛生課を環境衛生課と食品衛生課に分課
昭和62年 3月31日	飼犬管理指導所閉所(昭和62年4月1日動物保護管理センターに移管)
平成 6年 4月 1日	環境衛生課と食品衛生課を衛生課に統合
平成 6年 7月 1日	地域保健対策強化のための関係法律の整備に関する法律(法律第84号)による保健所法の改正(法律の題名が「地域保健法」に改められ、急激な人口の高齢化、疾病構造の変化等に対応した地域保健対策を総合的に推進し、その強化を図ることとされた。)
平成 9年 4月 1日	地方機関の再編により小牧保健所は、春日井保健所小牧支所となる。(管理課・衛生課・地域保健課)  本所の総務課を総務企画課に、保健予防課を地域保健課に変更。衛生課を環境衛生課と食品衛生課に分課
平成 14年 4月 1日	地方機関の再編により保健所は県事務所の組織に組み込まれ、また、環境保全課は県事務所内の課に移管される。  春日井保健所は「愛知県尾張事務所春日井保健所」となり、総務企画課・環境衛生課・食品衛生課・地域保健課の4課体制。小牧支所は、管理課・衛生課・地域保健課の3課体制となる。
平成 16年 3月31日	愛知県保健所の試験検査業務の集中化により、環境衛生課の試験検査グループを廃止
平成 17年 4月 1日	小牧支所の管理課と地域保健課を統合し、地域保健課と衛生課の2課体制となる。
平成 20年 4月 1日	地方機関の組織の見直しにより、春日井保健所は尾張事務所から独立して設置されるとともに、春日井保健所小牧支所が窓口機能に特化した春日井保健所小牧保健分室に改組される。環境衛生課は生活環境安全課、食品衛生課は食品安全課、地域保健課は健康支援課に名称変更
平成 24年 5月 7日	小牧保健分室が小牧市役所庁舎内に移転

## 2 組織及び業務

### (1) 組織

組織図(令和5年4月1日現在)



### (2) 業務

(令和5年4月1日現在)

課名	業務内容
総務企画課	1 文書及び公印の管守に関する事。 2 職員の人事及び福利厚生に関する事。 3 予算、会計及びその他庶務に関する事。 4 建物、附属設備及び物品の保全管理に関する事。 5 地域保健の総合的企画及び調整に関する事。 6 地区保健活動の育成指導に関する事。 7 健康危機管理の総合的企画及び調整に関する事。 8 人口動態統計及び保健統計に関する事。 9 健康づくりに関する事(健康支援課の事務分掌事項を除く。) 10 健康教育及び医療社会事業に関する事。 11 医務に関する事。 12 介護老人保健施設及び介護医療院の指導に関する事。 13 その他他の課の主管に属しない事。
生活環境安全課	1 感染症(結核を除く。)の予防及び医療に関する事。 2 予防接種(結核を除く。)に関する事。 3 理容師、美容師及びクリーニング師に関する事。 4 興行場、旅館、公衆浴場、理容所、美容所及びクリーニング所に関する事。 5 住宅宿泊事業に関する事 6 建築物における衛生的環境の確保に関する事。 7 墓地、火葬場及び納骨堂に関する事。 8 胞衣及び産汚物の取締りに関する事。 9 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する事。 10 衛生検査所に関する事。 11 水道施設の指導監督その他水の衛生に関する事。 12 プール等の指導監督に関する事。 13 薬務に関する事。 14 その他生活環境の衛生に関する事。

課 名	業 務 内 容
食品安全課	1 食品の衛生に関すること。(愛知県衛生研究所の事務分掌事項を除く。) 2 ふぐ処理師の免許に関すること。 3 製菓衛生師の免許に関すること。 4 調理師の免許に関すること。 5 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関すること。 6 化製場、死亡獣畜取扱場、畜舎、動物処理場等の衛生に関すること。 7 犬等の狂犬病の発生時の措置に関すること。
健康支援課	1 健康づくりに係る技術指導に関すること。 2 母子保健に関すること。 3 母体保護に関すること。 4 精神保健及び精神障害者の福祉に関すること。 5 自殺の予防に係る対策等心の健康の保持及び増進に関すること。 6 治療方法が確立していない疾病その他特殊の疾病により長期に療養を必要とする者の保健に関すること。 7 歯科保健に関すること。 8 栄養指導及び栄養調査に関すること。 9 栄養士の免許に関すること。 10 結核の予防及び医療に関すること。 11 保健師、助産師及び看護師の業務に関すること。 12 公害保健に関すること。 13 その他地域住民の健康の保持に関すること(他の課の事務分掌事項を除く。)。
小牧保健分室	小牧市の区域に係る春日井保健所の所掌事務を分掌

(注) 愛知県行政組織規則(昭和39年4月1日規則第21号)による。

### 3 職 員 数

令和5年4月1日現在

職 名 職種別内訳	計	所	次	保	課	保	課	課	主	主	主	主	技	再
		長	長	健 管 理 監	長	健 分 室 長	長 補 佐 ( 班 長 )	長 補 佐	査 ( 班 長 )	査	任	事	師	任 用
総 数	48	1	1	1	3	1	4	2	1	6	13	3	11	1
医 師	1	1												
歯 科 医 師	1			1										
薬 剤 師	12				1		2			2	3		4	
獣 医 師	6				1					2	2		1	
保 健 師	14				1		1		1		5		5	1
歯 科 衛 生 士	0													
栄 養 士	1												1	
精神保健福祉相談員	2									1		1		
社 会 福 祉	1										1			
事 務 職 員	10		1			1	1	2		1	2	2		
課 別 職 員 の 内 訳	総務企画課	12	1	1	1			1	2	1	2	2	1	
	生活環境安全課	10				1		1		1	3		4	
	食品安全課	10				1		1		3	2		3	
	健康支援課	13				1		1		1	1	4	1	3
	小牧保健分室	3					1					2		

男女別人員 男 21人 女 27人

41歳1か月

(注)

上記の他、臨時的任用職員2人(総務企画課2人)、任期付職員2人(健康支援課2人)、短時間勤務再任用職員2人(生活環境安全課2人)及び一般職非常勤職員6人(総務企画課2人、生活環境安全課1人、健康支援課1人、小牧保健分室2人)を配置している。

## 4 決 算

(令和4年度)

歳 入		
科 目		金 額
款	項	
使用料及び手数料		1,374,183
	使用料	12,673
	手数料	1,361,510
財産収入		6,413
	財産売払収入	6,413
諸収入		156,660
	雑入	156,660
合 計		1,537,256

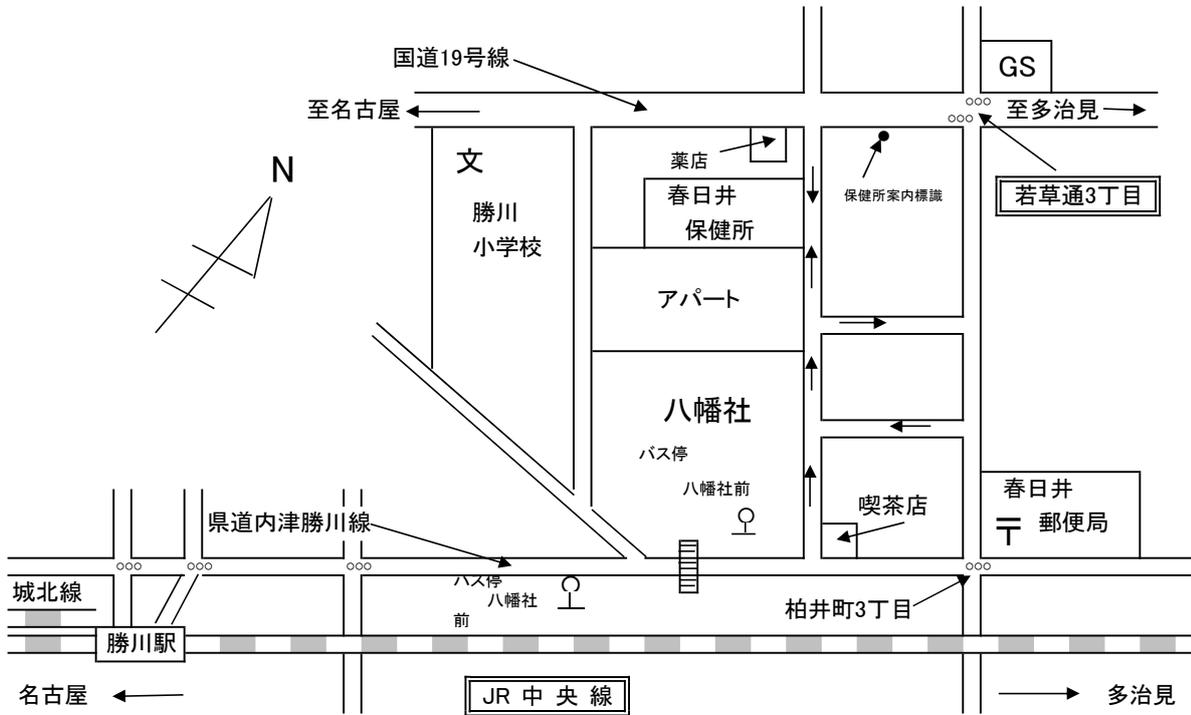
歳 出		
科 目		金 額
款	項	
福祉医療費		円 95,656,147
	保健医療費	82,196,006
	生活衛生費	1,569,037
	保健所費	9,136,953
	医薬費	2,754,151
総務企画費		1,200
	防災安全費	1,200
合 計		95,657,347

## 5 その他

### (1) 庁舎

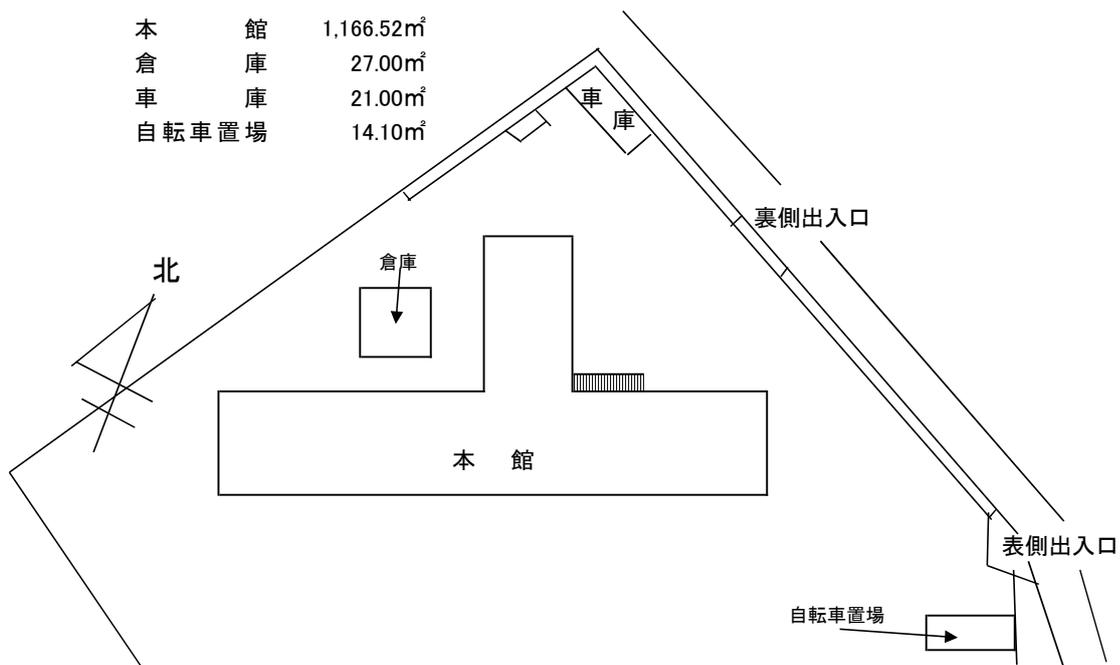
- ア 本所
- 位置図

所在地 春日井市柏井町2-31



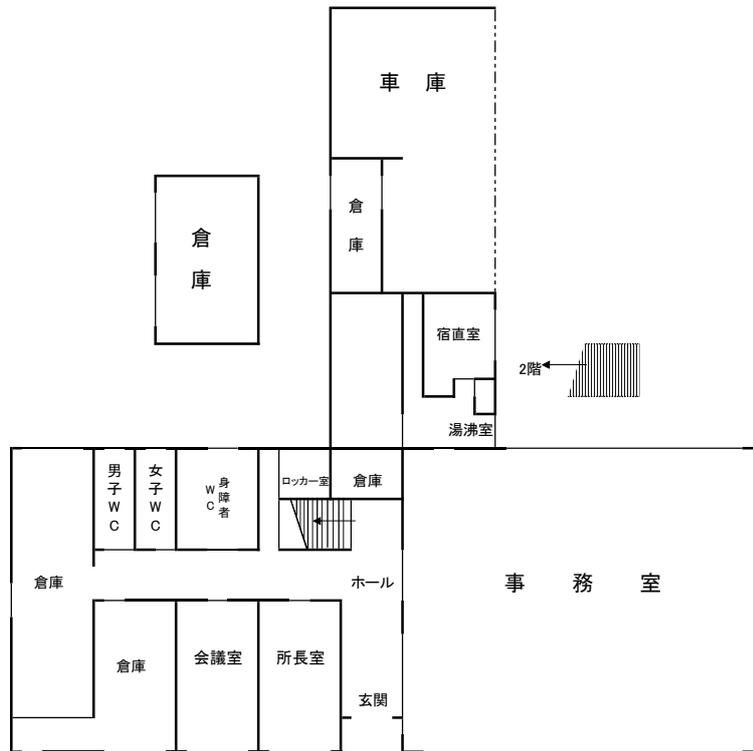
### ○ 配置図

敷地面積	2,624.36㎡
本館	1,166.52㎡
倉庫	27.00㎡
車庫	21.00㎡
自転車置場	14.10㎡

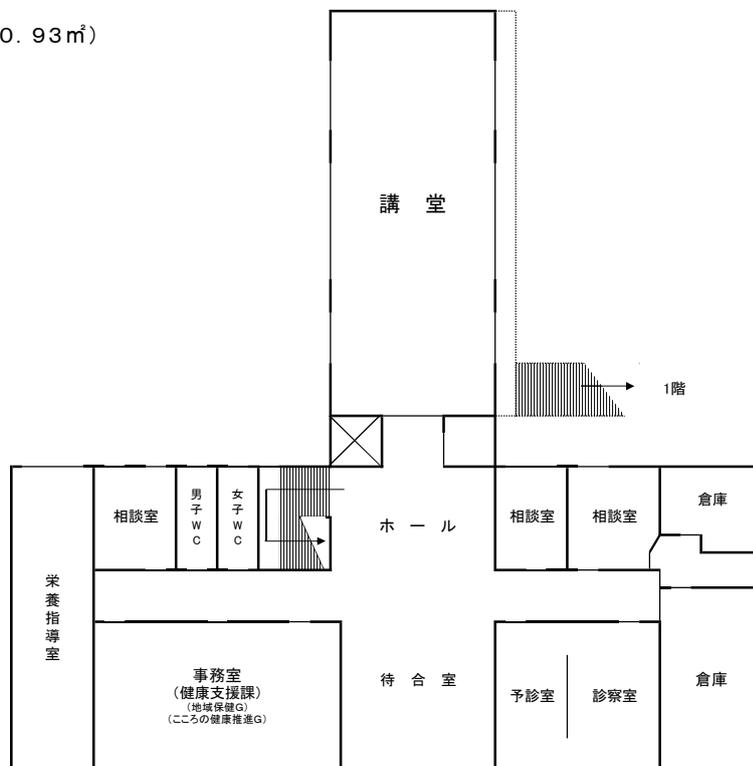


○春日井保健所平面図

1階(585.59㎡)



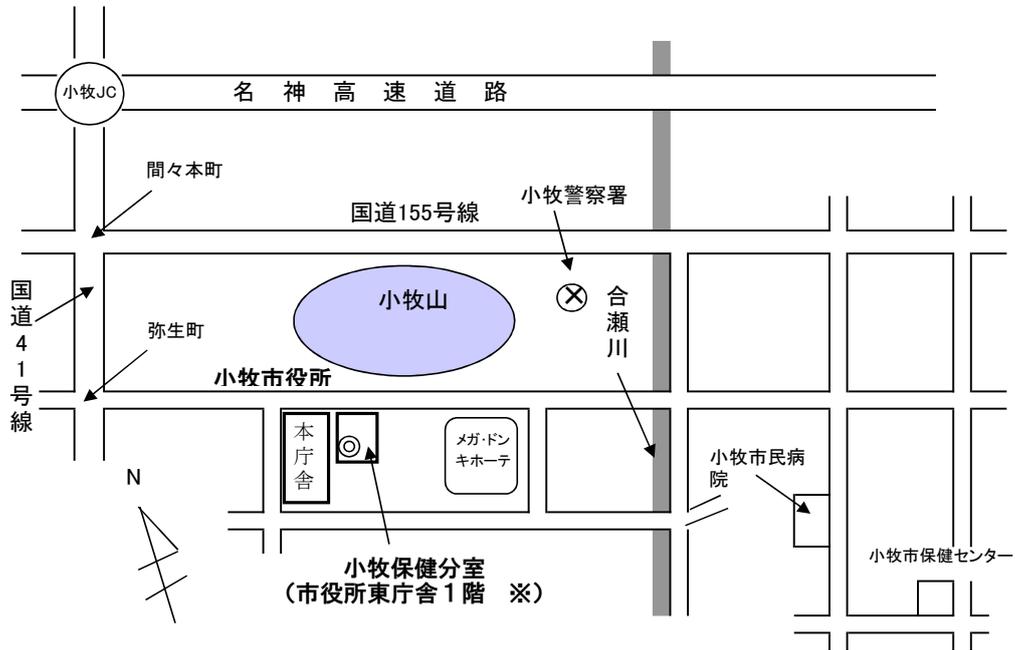
2階(580.93㎡)



イ 小牧保健分室

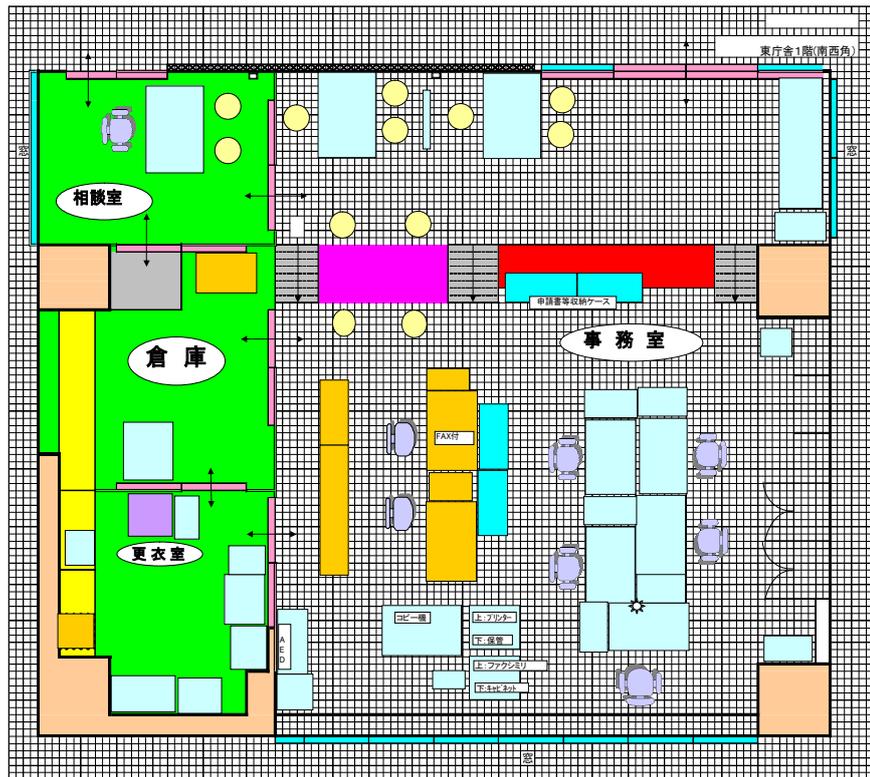
○ 位置図

所在地 小牧市堀の内3-1(小牧市役所内)



○ 平面図

東庁舎1階



(2) 健康相談日割表

本 所

(令和5年4月1日現在)

事業内容	受付日	受付時間	備考
食事療法・栄養相談 (複数の疾患を有する方等)	第2火曜日	9:30～11:00	予約制
歯科健康相談	第2水曜日	9:30～11:00	予約制
メンタルヘルス相談 (自殺・ひきこもり・うつ・心の健康問題 や心の病気などに関する相談)	月～金 (祝日及び年末年始を除く)	9:00～12:00 13:00～16:30	面接は 予約制
血液検査 (エイズ・梅毒・肝炎検査)	第1・3火曜日 (5/2,11/21,12/19,1/2,3/19を除く)	9:00～11:00	
骨髄ドナー登録	第1・3火曜日 (5/2,11/21,12/19,1/2,3/19を除く)	9:00～11:00	予約制
検便検査	毎週 火曜日 (5/2,11/21,1/2,3/19を除く)	9:00～11:00	予約制
水質検査	※10/31,2/20は食品製造用水の み実施なし		

小牧保健分室

事業内容	受付日	受付時間	備考
検便検査	毎週 火曜日 (5/2,11/21,1/2,3/19を除く) ※10/31,2/20は食品製造用水の み実施なし	9:00～11:00	
水質検査			予約制

## 第 2 管内の概況

## 第2 管内の概況

### 1 管内の状況

春日井保健所は、愛知県の北西部にあって、春日井市と小牧市の2市を管轄区域とし、管内人口は453,948人（令和4年10月1日）である。

春日井市は、昭和25年の(株)王子製紙春日井工場等の誘致を境に農業を中心とした田園都市から、内陸工業地帯として発展してきたが、昭和35年ごろから名古屋市ベッドタウン化がみられ、昭和43年の高蔵寺ニュータウン第一次入居開始以降住宅都市としての性格が強くなった。平成13年には愛知県で最初の特例市となり騒音規制法、水質汚濁防止法、都市計画法など多くの権限が移譲されたことでそれまで以上に地域の特性を活かした個性あるまちづくりが出来るようになった。

小牧市は、大きく変貌した事業の一つに桃花台ニュータウンの建設事業がある。愛知県を事業主体として322haの新住宅市街地開発事業により開発が進められた。また、東名・名神・中央の高速自動車道3路線の結節点という立地条件にも恵まれ田園都市から陸上交通要衝都市の性格を生かした物流工業都市へと大きく変貌し、中部の中核都市へと発展している。さらに、平成13年には名古屋都心部と小牧ICを直結する名古屋高速道路高速11号小牧線が開通した。

交通機関は、JR中央本線が春日井市の南部を東西に横断し、名鉄小牧線が春日井市の西端をかすめて小牧市を南北に縦断している。平成15年度からは、名鉄小牧線と名古屋市営地下鉄の相互乗り入れが行われた。

また、愛知環状鉄道が、春日井市東部のJR中央本線高蔵寺駅と三河地域の中心地JR東海道本線岡崎駅を連絡している。東海交通事業城北線はJR中央本線勝川駅からJR東海道本線枇杷島駅と連絡している。

道路網は、東名・名神の高速道路が管内のほぼ中央を東西に走り、春日井IC・小牧ICにより主要道路の国道19号線と国道41号線に連絡している。国道155号線は春日井市、小牧市を横断している。

名古屋第二環状自動車道は、春日井市内の南部を横断し、小牧市内では中央自動車道が岐阜県・長野県方面に延び、また、名古屋高速道路が名古屋都心部と連絡している。



表1 管内の人口及び面積

令和4年10月1日現在

市町村別	人口(人)			世帯数(世帯)	面積※ (Km <sup>2</sup> )	人口密度 (1Km <sup>2</sup> 当り)
	総数	男	女			
愛知県	7,497,521	3,734,414	3,763,107	3,293,208	5,170	1,450
管内	453,948	225,274	228,674	196,385	155.59	2,918
春日井市	306,774	151,167	155,607	133,055	92.78	3,306
小牧市	147,174	74,107	73,067	63,330	62.81	2,343

(資料)人口・世帯数:愛知県県民文化局県民生活部統計課「2022年あいちの人口(年報)」  
面積:国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(令和5年1月1日時点)

表2 管内市町村別年齢(5歳階級)別人口

令和4年10月1日現在

市町村名	管内	春日井市	小牧市	愛知県	
総数	453,948	306,774	147,174	7,497,521	
0～4歳	16,627	11,585	5,042	283,226	
5～9歳	19,579	13,355	6,224	321,611	
10～14歳	21,580	14,549	7,031	343,282	
15～19歳	22,433	15,119	7,314	349,634	
20～24歳	25,027	16,502	8,525	412,861	
25～29歳	24,130	15,801	8,329	425,826	
30～34歳	23,880	16,032	7,848	420,445	
35～39歳	26,235	17,769	8,466	456,195	
40～44歳	29,177	19,737	9,440	489,884	
45～49歳	37,622	25,448	12,174	588,698	
50～54歳	37,194	25,245	11,949	590,593	
55～59歳	28,400	19,052	9,348	482,673	
60～64歳	23,399	15,544	7,855	412,877	
65～69歳	22,731	15,041	7,690	390,069	
70～74歳	31,221	21,157	10,064	498,095	
75歳以上	64,713	44,838	19,875	1,031,552	
不詳	0	0	0	0	
分年齢 別(割合) 3区	0～14歳	12.7	12.9	12.4	12.6
	15～64歳	61.1	60.7	62.0	61.7
	65歳以上	26.1	26.4	25.6	25.6

(資料)愛知県県民文化局県民生活部統計課「令和4年あいちの人口(年報)」

## 2 管内の課題

### (1) 医療確保

令和4年10月1日現在における医療施設は、病院16（前年比±0）、診療所314（前年比+4）、歯科診療所200（前年比-3）である。病院の療養病床数及び一般病床数は、人口万対比76.7で県平均87.6を下回っている。

なお、昭和62年8月に愛知県地域保健医療計画（以下「医療計画」という。）が公示され、1次医療（通院医療）から2次医療（入院医療）までの医療を包括的・継続的に提供し、療養・一般病床の整備を図るべき地域単位として「2次医療圏」の圏域が設定され、当管内は「尾張北部医療圏」に属している。

令和5年3月31日時点で圏域内の既存病床数は5,030床で、医療計画による基準病床数4,725床との差が305床となった。

救急医療体制は、第1次救急医療については、春日井市は休日・平日夜間急病診療所により、小牧市は休日急病診療所により実施されている。第2次救急医療については小牧第一病院を始めとして医療計画に記載された病院により実施されている。また、第3次救急医療は、小牧市民病院・春日井市民病院（ともに救命救急センターに指定）により受入体制が整備されている。救急医療は、2次、3次の救急医療機関への軽症者の集中が問題となっていることもあるため、1次救急医療機関との機能分担等について、市民への周知をさらに進めていく必要がある。

### (2) 環境衛生

環境衛生関係営業施設等は、住民の日常生活に影響する施設であり、十分な衛生管理と衛生水準の維持向上のため、遵守事項を営業者へ指導していく。

薬事関係施設は、地域住民の健康に関与しており、医薬品等の管理や販売が適正に実施されるように指導していく必要がある。

感染症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染症法」という。）に基づいた発生動向調査などを通じ、平常時から感染症の発生に備えることが求められる。令和2年2月に指定感染症として指定された「新型コロナウイルス感染症」が令和3年2月13日に新型インフルエンザ等感染症に位置付けられ、行政主導のもと蔓延防止対策に尽力し、また、医療体制の整備等を行ってきたところである。その「新型コロナウイルス感染症」が、令和5年5月8日に5類感染症に位置付けが変更されたため、季節性インフルエンザ等への対応と同様に、個人の選択を尊重することを基本とする考え方へ転換することとなる。今後は、季節性インフルエンザにおける診療体制を念頭に、医療体制等を段階的に移行していくことになるが、その円滑な移行に向けて、今年度は移行計画を策定し、対応する医療機関の維持・拡大を促していく必要がある。

性感染症対策として、エイズを発症前に感染を把握することが重要であり、相談窓口の設置及び無料匿名検査を実施している。感染者が増加している梅毒についてもあわせて実施している。

肝炎対策として、感染に気付かないまま経過している方の掘り起こしのため、B型及びC型肝炎の無料検査を保健所で実施し、さらに、管内医療機関と委託契約を締結して受検者の利便性を確保している。

先天性風しん症候群の発生を防ぐため、また、風しんの予防接種を効率的に実施するため、

妊娠を希望する女性及びその配偶者等を対象に、風しん抗体検査を実施している。

麻薬・覚醒剤・大麻等薬物乱用による事犯は依然として発生し、大きな社会問題となっているため、薬物乱用の弊害を広く住民に周知する等、啓発活動を継続していくことが重要である。

献血事業は、血液を国内で供給するために重要であり、献血可能世代の若者の協力を得るため知識の普及・啓発を行っていく必要がある。骨髄又は末梢血幹細胞提供希望者の登録者を増やし、骨髄移植を推進するための助成事業を実施し、骨髄提供しやすい環境づくりが重要である。

### (3) 食品衛生

食は生活の根幹をなすものであり、消費者保護の立場からも食品の安全確保は極めて重要である。

近年、消費者ニーズの多様化並びに社会情勢の変化に伴って食品の製造・加工技術は進展し、また、流通形態も複雑化してきた。さらには、食品営業関係施設の業態が多岐にわたることから、危害分析重要管理点（HACCP）方式の概念に基づき危害分析を行い、その施設に応じた効率的な監視指導を行うとともに、HACCP方式による自主衛生管理の普及推進を図っていく必要がある。

また、令和4年5月には春日井市内の弁当工場が原因でウエルシュ菌による大規模（患者267名）な食中毒が発生するなど、県内でも多くの食中毒が発生しており、食に対する安全・安心が求められていることから県民の不安を解消し、食の安全確保を図る必要がある。

### (4) 対人保健

管内における死因は、がん、心疾患、脳血管疾患の生活習慣病が約半数を占めている。生活習慣病を予防するためには、個人の主体的な健康づくりへの取り組みに加え、健康教育、健康相談、健康診査等の保健事業による生涯を通じた健康管理の支援をすることが必要である。

保健所としては県民の健康づくりを推進するための行動計画「健康日本21 あいち新計画」の推進に関することや市の健康増進計画の推進に関する支援を行っている。また、地域・職域連携推進事業により、地域保健と職域保健の広域連携を図り、生活習慣病対策をより推進していく必要がある。

母子保健対策については、地域の情報等の収集、解析・評価をすることにより、管内市が実施する母子保健施策の充実強化を図るとともに、地域の関係機関との連携体制についても引き続き整えていく必要がある。また、慢性的な病気のために、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族への相談支援事業を充実させていく必要がある。

結核対策については、結核登録者情報調査等による情報収集と、接触者健康診断によるまん延防止対策の推進、地域の服薬支援者等の関係者と連携した服薬支援を実施している。管内の結核新登録患者数は、減少傾向であるものの、結核患者に占める70歳以上の高齢者の割合が高く、近年では外国生まれの患者が増えている。確実な服薬支援により治療を完遂させることができるよう医療機関を始め地域関係者との連携体制の充実強化を図る必要がある。

難病対策について、特に、神経系難病患者は、病気の進行に伴い日常生活動作（ADL）が低下しながらも療養生活は長期にわたることが多く、関係機関と連携して患者・家族の療養生活を支援しながら、地域の支援体制や療養環境の整備を努める必要がある。また、災害時に配慮が

必要となることが多いため、日頃から患者・家族に災害に関する啓発を行うとともに、各市の災害時要援護者台帳の登録を行い災害時に安否確認ができる体制を引き続き整えていく必要がある。

歯科口腔保健対策については、愛知県歯科口腔保健基本計画の目標達成に向けた管内各市の指標の進行管理は重要であるとの認識のもと歯と口の健康づくり推進会議を開催し、管内各市各関係部署や関係機関・団体との格差是正を目指した課題の共有、解決策の検討をした。ただしコロナ禍であったため十分な時間を取ることができず課題解決には至っていないため、できる限り各市関係部署や歯科医師会との意見交換・情報共有に一層注力する必要がある。また、喫緊の課題として、乳幼児期の口腔機能の獲得に係る関係機関の連携、及び、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を見据えたオーラルフレイル対策への情報整理、フッ化物洗口の円滑な実施に向けた環境整備がある。そのため、関係機関団体と顔の見える連携を一層推進する必要がある。

精神保健福祉対策においては、精神障害者が再発を予防しながら、地域社会の一員として安心して生活できるよう、管内2市を始め関係機関と協働で取り組んでいく必要がある。また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築するため、関係機関による協議の場を通じて、医療・福祉・介護サービスの提供体制や、精神障害者の地域移行支援について検討を進めていく必要がある。

メンタルヘルス対策については、主に自殺対策とひきこもり対策を行っている。自殺対策については、管内各市の自殺対策計画の推進と調和を図りながら効果的な取組みを進める必要がある。そのため、地域住民へのゲートキーパー養成は各市が計画に基づき実施していることから、保健所は自殺ハイリスク者への相談窓口対応を強化していく必要がある。ひきこもり対策については、住民により身近な市町村が相談や生活支援を中心に進めているため、市がより主体的にひきこもり支援に取り組めるような情報提供や支援を行っていく必要がある。

### 第 3 令和 5 年度事業計画

### 第3 令和5年度 事業計画

#### 主要事業の概要

##### 1 医療計画推進事業

###### (1) 尾張北部圏域保健医療福祉推進会議の開催

尾張北部圏域における保健・医療・福祉に関する施策について、その円滑かつ効果的な実施のため、関係行政機関、関係団体、その他関係者から意見を得ること及び、関係機関等相互の連絡調整を行うことにより、保健・医療・福祉の連携を図ることを目的として、尾張北部圏域保健医療福祉推進会議を開催する。

###### (2) 尾張北部構想区域地域医療構想推進委員会の開催

尾張北部構想区域地域医療構想の達成及び愛知県外来医療計画を推進するため、診療に関する学識経験者の団体、その他の医療関係者、医療保険者その他関係者と協議等を行う場として、地域医療構想推進委員会を開催する。

##### 2 災害医療対策事業

大規模災害時の災害医療を円滑に実施するため、地域保健医療調整会議の体制、関係者間の連携と情報共有体制、急性期の負傷者の搬送体制や中長期における慢性疾患患者等の受入れ体制、医薬品の確保策などを検討する。

##### 3 広報活動

地域保健法の施行に伴い保健所の役割が変化し、情報の伝達手段が多様化してきたため、情報が必要な時に必要なところへ届くように実施する。

情報化時代に対応した広報手段の一つとして、保健所ホームページにより情報を発信していく。

##### 4 薬物乱用防止対策事業

麻薬・覚醒剤・大麻・危険ドラッグ等の薬物の乱用防止について、関係機関と緊密な連携を図り、広報や相談事業等の乱用防止啓発活動を積極的に実施することにより、薬物等の乱用による危害の防止を図る。

(1) 覚醒剤・大麻等に関して、特に薬物乱用の予防啓発の観点から薬物乱用防止の相談に応じる。

(2) 4月から6月の不正大麻・けし撲滅運動に合わせて啓発等を実施する。

(3) 薬物乱用防止推進協議会を開催し、地域の実情に応じた薬物乱用防止の推進を図る。

(4) 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動期間（10月1日から11月30日まで）を中心に麻薬・覚醒剤・大麻等の薬物乱用防止の啓発キャンペーン及び街頭啓発活動を実施し、薬物乱用防止を呼びかける。

##### 5 献血推進対策事業

血液に関する知識の普及と献血思想の高揚を図り、医療機関が必要とする血液を十分に供給できるよう、献血者の確保事業を促進する。

###### (1) 若年層対策

若年層に対する知識普及及び啓発を図るため、大学祭、イベント等の機会を利用しパンフレット等の啓発資材を配布する。

(2) 献血活動市町村支援

春日井市及び小牧市と協力し、健康フェスティバル、街頭キャンペーン等で啓発資材を配布し、献血への協力を呼び掛ける。

(3) 献血推進啓発方法の検討

献血を推進するための啓発方法等について、関係機関と情報交換を行う。

6 骨髄又は末梢血幹細胞提供希望者登録推進事業

白血病、再生不良性貧血、先天性免疫不全症などの血液難病の治療法としての骨髄又は末梢血幹細胞移植を行うには、患者と提供者の白血球の型を一致させる必要がある。そのためには、より多くの骨髄又は末梢血幹細胞提供者を確保する必要がある。そこで、広く県民の理解を得て、骨髄又は末梢血幹細胞提供希望者の登録の推進を図るため、定期の骨髄又は末梢血幹細胞ドナー登録会のほか、イベント等の機会を利用して、街頭キャンペーン、献血併行型骨髄又は末梢血幹細胞ドナー登録会を開催する。

7 感染症対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、発生動向調査を含めた平常時の感染予防対策を行う。「新型コロナウイルス感染症」については、令和5年5月8日に新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に位置づけが変更された。移行前は行政主導のもと感染予防対策や医療体制の整備等を行ってきたが、今後は季節性インフルエンザにおける診療体制を念頭に医療体制を段階的に移行していくことになるが、その円滑な移行に向けて、移行計画を策定し、医療機関等と会議・情報交換を行いつつ、医療体制の整備を進める。

エイズ及び性感染症は、若者を中心に増加傾向があることから、正しい知識の普及を図るとともに、HIV抗体検査を希望者に対し無料匿名で実施する。

近年、梅毒患者数が急増しているため梅毒の無料検査も実施する。

また、感染の可能性がある希望者に対し、B型及びC型肝炎検査を保健所及び協力医療機関に委託し無料で実施する。陽性者に対しては肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業を実施する。

先天性風しん症候群の発生を防ぐことを目的として、妊娠を希望する女性及びその配偶者等を対象に協力医療機関において風しん抗体検査を無料で実施する。

8 食の安全・安心推進事業

食に対する信頼を損なう事件・事故が続発し、食の安全について消費者の不安が広がっていることから、管内業者に対して食の安全・安心の確保に関する監視を適宜行い、県民の不安解消を図る。

＜食の安全・安心タウンミーティングの開催＞

管内の食品業者及び住民並びに保健所との三者で、地域に密着した食の安全・安心に関する情報提供や意見交換等を行うリスクコミュニケーションの場を設け、三者の相互理解を深める。

＜集団給食施設向け実務講習会の開催＞

食品衛生法の改正により、令和3年6月から許可を要しない集団給食施設についても食品衛生責任者を設置し、定期的に都道府県知事等が行う講習会を受講することとされたことから、当該責任者を対象とした講習会を開催する。

## 9 圏域健康づくり推進特別事業

「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」へ向けて、市町村や関係機関、関係団体等と連携・協力しながら中小規模事業所への出前講座の実施や広報啓発活動を行う。

## 10 地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健の広域的連携により、健康に関する情報等を共有し、在住者や在勤者の違いによらず、地域の実情を踏まえたより効果的・効率的な保健事業の展開や健康寿命の延伸及び生活の質の向上に向け検討を行う。

## 11 地域健康課題対応事業

管内の保健・医療・福祉・防災担当者が発災時における各所属の役割、的確な情報収集、関係機関との連絡体制の必要性を理解し、災害に備えることを目的に実施する。

<事業内容>

管内の保健・医療・福祉・防災担当者と災害時保健活動体制整備に向けた検討を行う。

## 12 生活習慣病対策

### (1) 地域喫煙対策推進事業

喫煙は、健康に与える影響が大きく、受動喫煙の危険性やニコチンの習慣性・依存性をふまえると、喫煙習慣は個人の嗜好にとどまらない健康問題である。

未成年者等の喫煙防止、娯楽施設・飲食店等の受動喫煙防止等健康教育や講習を行い、たばこの健康への影響に関する知識について普及啓発を行う。また、健康増進法の改正に伴い受動喫煙の防止を図るなど、関係機関との連携による防煙環境づくりに関する事業を実施する。

### (2) あいち健康マイレージ事業

愛知県では行政・企業・県民等が連携し、県民が生涯を通じて主体的に健康づくりに取り組めるよう環境の整備を図るため、平成26年9月に「あいち健康マイレージ事業」を開始し、平成27年度から春日井市が、平成28年度から小牧市が事業を実施している。

保健所では、市と連携した事業啓発の実施、協力店の募集及び認定事務等を行う。

### (3) 食育推進協力店登録事業

家庭食だけでなく外食を含めた食生活の管理が一層重要になってきた今日、県民が安心して外食ができ、メタボリックシンドロームの予防に向けた環境の整備をする目的で飲食店関係者及び地域住民への研修会や講習会を開催する。また、給食施設や飲食店等に対し、メニューに栄養成分表示や健康情報の提供をする食育推進協力店の登録を進める。

## 13 栄養改善指導事業

### (1) 栄養指導

病態等、ハイリスク者に応じた専門的個別栄養指導を実施する。

### (2) 栄養改善連絡会議の開催

管内における栄養改善事業及び生活習慣病対策事業等の共有、健康危機管理の栄養・食生活支援体制の円滑な推進と栄養指導担当者相互の一層の連携を図る。

### (3) 特定給食施設指導の実施

給食施設管理者及び給食関係者に対し、栄養管理上で適切な援助及び指導を行い、給食内容

の向上を図るとともに、給食を通じて喫食者への栄養教育が適切に行われ、喫食者の健康増進を推進する。

(4) 推進員指導者研修の実施

食生活改善推進員指導者に対する再教育事業を実施する。

14 歯科口腔保健対策事業

「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」及び「愛知県歯科口腔保健基本計画」に基づき、生涯を通じた歯科口腔保健活動の一層の充実を図り、八〇二〇の達成を目指すため、歯科口腔保健対策事業を実施する。

(1) 歯と口の健康づくり推進会議の開催

地域における課題を関係機関団体で共有し、解決に向けた情報の共有化・意見交換を行う。

(2) 地域歯科保健評価事業

地域保健業務状況報告を始めとした地域における歯科保健データの収集に努め、その分析・評価を行い、関係機関・団体に還元を行う。

(3) 地域歯科保健課題対応事業

県の方向性を踏まえつつ管内各市の乳幼児期から高齢期までの口腔機能の獲得・維持・向上を目指した情報整理・調整を行うと共に、各市における施設でのフッ化物洗口実施が可能となるよう環境整備を行う。

(4) 地域歯科保健活動支援事業

ライフコースをふまえた歯科疾患予防、口腔機能対策が地域で効果的に円滑に展開されるよう、管内各市や関係機関等が実施する歯科保健活動を支援する。

15 精神保健福祉対策事業

地域の精神保健福祉向上と支援体制の整備を図るため、以下の事業を実施する。

(1) 関係者間で地域の課題を共有し協議するための地域精神保健福祉推進協議会の開催

(2) 心神喪失者等医療観察法及び措置入院者退院後支援に係る支援対象事例や、地域の処遇困難事例等を中心に、保健、医療、福祉等関係機関と連携して行う個別事例支援

(3) 統合失調症等の家族を対象とする家族教室の開催

(4) 精神障害者地域移行支援のための関係者会議の開催及び啓発活動の実施

16 メンタルヘルス対策事業

うつ・自殺・ひきこもり問題を始めとして、広く一般住民のメンタルヘルス対策として以下の事業を実施する。

(1) メンタルヘルス相談窓口の開設

平日の午前 9 時から正午、午後 1 時から午後 4 時 30 分までを受付時間として、メンタルヘルス相談、ひきこもり相談を実施する。

(2) アルコール専門相談の実施

アルコール関連問題について、精神科医師・酒害相談員による専門相談を実施する。

(3) 地域関係機関職員を対象に研修会及び地域連携会議の開催

うつ、自殺、アルコール、ひきこもり等の問題に対する地域関係者の対応技術の向上を目的に研修会、会議、事例検討会等を実施する。

(4) 家族支援

ひきこもりの方の家族を対象に交流会を開催する。

17 結核対策事業

結核のまん延を防止し、患者の服薬が確実に行われるよう支援を展開する。また、結核患者を早期に発見し、速やかに適切な医療に結び付け確実な服薬支援により治療完遂をさせることができるよう医療機関、地域関係機関との連携体制の整備、強化を図る。

- (1) 初回面接等個別支援
- (2) 接触者健康診断
- (3) DOTS カンファレンス、地域 DOTS の推進
- (4) コホート検討会

18 難病対策事業

在宅難病患者に対して保健師等による家庭訪問を実施し、療養環境の整備を図るとともに、患者・家族教室を開催し、病気の理解を深める等療養生活への支援を行う。

特に、病気の進行に伴い ADL の低下、医療依存度が高くなる神経系難病患者には災害時に配慮が必要となるため、地域関係機関との連携により支援体制づくりを進める。

- (1) 面接、訪問相談
- (2) 神経系難病患者・家族教室等の開催
- (3) 難病対策地域協議会の設置
- (4) 地域ケア推進会議の開催

19 母子保健事業

(1) 市町村母子保健推進事業

尾張北部医療圏内市町における母子保健施策の充実強化を図るため、母子保健情報等の収集、解析・評価をし、地域の課題解決に向けた研修会や会議等を実施する。また、子育て世代包括支援センター充実強化に関する市町村支援として事例検討会等を開催する。

(2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

慢性的な疾患のため長期にわたり療養を必要とする小児慢性特定疾病児童やその家族等の相談や交流の機会などの支援を行うとともに、関係機関が連携して支援する体制の充実強化のため、事例検討等の会議を開催する。

(3) 安心安全な妊娠・出産サポート事業

若い世代の男女が生殖機能に関する正しい知識を学び、自らのライフプランを考えるきっかけとなるよう、教育現場等と連携して健康教育を実施する。

## 第 4 令和 4 年度事業実績

### 主要事業の概要

## 第4 令和4年度 事業実績

### 主要事業の概要

#### 1 医療計画推進事業

##### (1) 尾張北部圏域保健医療福祉推進会議の開催

尾張北部圏域における保健・医療・福祉に関する施策について、その円滑かつ効果的な実施のため、関係行政機関、関係団体、その他関係者から意見を得心すること及び、関係機関等相互の連絡調整を行うことにより、保健・医療・福祉の連携を図ることを目的として、尾張北部圏域保健医療福祉推進会議を開催した。

日時	主な内容	構成員
第1回 令和4年9月7日 (書面開催)	介護保険施設等の整備承認について	管内医師会始め 23団体
第2回 令和5年3月14日 (書面開催)	愛知県地域保健医療計画の見直しについて	管内医師会始め 23団体

##### (2) 尾張北部構想区域地域医療構想推進委員会の開催

尾張北部構想区域地域医療構想の達成及び愛知県外来医療計画を推進するため、診療に関する学識経験者の団体、その他の医療関係者、医療保険者その他関係者と協議等を行う場として、地域医療構想推進委員会を開催した。

日時	主な内容	構成委員
第1回 令和4年9月28日 (書面開催)	公立病院経営強化プランについて 外来機能報告・紹介受診重点外来について	管内医師会始め 30団体
第2回 令和5年1月18日(書 面開催)	公立病院経営強化プランの策定について 具体的対応方針(役割)の決定について	管内医師会始め 30団体

#### 2 災害医療対策事業

南海トラフ巨大地震を想定し、災害急性期における、被災地から比較的被害の少ない地域への患者搬送体制や、中長期における慢性疾患患者の受け入れ体制について、尾張北部災害医療部会を開催し検討した。

日時	主な内容	構成委員
令和4年8月31日(書 面開催)	前回の検討会を踏まえた医療救護所の設置・運営等 について	管内医師会始め 38所属

#### 3 広報活動事業

新型コロナウイルス感染症対応のため、保健所情報誌の発行は中止。

保健所ホームページにて、随時、情報発信・啓発情報の提供を実施した。

#### 4 薬物乱用防止対策事業

麻薬・覚醒剤・大麻等薬物の乱用による事犯は、依然として多発している。

国内の大麻事犯者の検挙者数は平成26年から増加し続け、令和3年の検挙者数は過去最多を更新し、

20歳未満で全検挙人員の約7割を占めるなど若年層の乱用が特徴となっている。

このため、麻薬・覚醒剤・大麻等の乱用による弊害を広く一般県民に周知し、乱用防止を呼びかけるために、例年は地区薬物乱用防止推進協議会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症対応のため開催しなかった。

また、例年行っている啓発キャンペーン及び街頭啓発活動についても、新型コロナウイルス感染症対応のため実施しなかった。

## 5 献血推進対策事業

少子高齢化に伴う献血者の減少や、医学の進歩により血液の需要も増加の一途をたどっており、近年は全血輸血から血小板製剤・血漿製剤等の成分輸血が主体となってきている。

例年であれば、春日井市及び小牧市と協力して、健康フェスティバル、市民まつり等において啓発資材を配布して献血（特に400ml献血及び成分献血）への理解と協力を呼び掛けるところであるが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。

なお、春日井市及び小牧市、献血推進協議会並びに関係機関と連携して地域や職場でのボランティア団体の育成と組織的な献血の推進に努めた。

## 6 骨髄又は末梢血幹細胞提供希望者登録推進事業

白血病や再生不良性貧血などの血液難病の治療法としての骨髄移植を推進するためには、骨髄提供者を増やす必要がある。

そこで、保健所において登録を受け付け、1名の登録があった。また、事業所での登録会を行い、2名の登録があった。

## 7 感染症対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき選定した18か所の定点医療機関において対象疾病の発生状況を調査し、流行状況の把握に努めた。

新型コロナウイルス感染症対策では、医療機関からの発生届に基づき患者の健康観察や入院受診調整を行うとともに、患者や医療機関等からの問い合わせに対応をした。

エイズの患者数は、依然として増加傾向にあることから、早期発見、早期治療及び蔓延防止を図るため、保健所においてエイズ検査（HIV抗体検査）を無料匿名で実施した。また、近年増加傾向である梅毒についても保健所において検査を無料匿名で実施した。

肝炎ウイルスに感染している可能性がある者に対して保健所及び委託医療機関における無料検査を実施し、陽性者の早期治療につなげるために重症化予防推進事業及び陽性者フォローアップ事業を実施した。

先天性風しん症候群（CRS）の発生を防ぐため、妊娠を希望する出産経験がない女性及びその配偶者等を対象に、協力医療機関における無料風しん抗体検査を実施した。また、抗体検査の結果、風しんに対する免疫が不十分とされた方を対象に、予防接種の推奨を行った。

## 8 食の安全・安心推進事業

### < 集団給食施設向け実務講習会 >

許可を要しない集団給食施設の食品衛生責任者に対して実務講習会を開催し、食品衛生に係る知識及び最新情報を提供した。

実施日	場所	参加者
令和4年8月2日(火)	グリーンパレス春日井	54人(52施設)
令和4年8月10日(水)	瀬戸市文化センター	36人(32施設)

令和4年8月26日(金)	江南市民文化会館	46人(46施設)
令和4年8月31日(水)	東郷町民会館	14人(16施設)

## 9 圏域健康づくり推進特別事業

研修会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う保健所の体制強化のため中止とした。出前講座については、地域職域連携推進事業により、働く世代の高血圧予防対策を推進するため、「10分でわかる！オンライン版『健康づくり出前講座』」の配信を開始した。

普及啓発について、春日井市健康救急フェスティバルにて、展示、啓発物品の配布による健康づくりに関する啓発を実施した。また、「世界糖尿病デーin 春日井 2022」について、糖尿病やその合併症の啓発を目的に地域の協力団体と共催した。

## 10 地域・職域連携推進事業

働く世代の高血圧予防対策を推進するため、地域保健と職域保健の広域的連携により、健康に関する情報等を共有し、在住者や在勤者の違いによらず、地域の実情を踏まえたより効果的・効率的な保健事業を展開し、健康寿命の延伸及び生活の質の向上を図ることを目的として、尾張北部医療圏地域・職域連携推進協議会及び作業部会を設置している。

地域・職域連携推進協議会は新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化のため中止。

日時	主な内容	出席者
(作業部会) 令和4年10月28日(金)	(1)地域・職域連携推進事業の実施状況について (2)健康づくり出前講座の動画配信について (3)地域職域連携推進事業の今後の進め方について	22名

## 11 地域健康課題対応事業

管内の保健・医療・福祉・防災担当者が災害発生時にマニュアルに基づき的確な情報収集を行い、関係機関との連携を取りながら効果的な活動が展開できるよう研修会を開催した。

日時	主な内容	出席者
令和5年1月23日(月) 午後2時～4時30分まで	(1)講義 「愛知県災害時保健師活動マニュアル(令和3年3月)について～共通理解を深めよう～」 講師 名古屋市立大学大学院看護学研究科 教授 門間晶子氏 (2)演習 災害時受援側の立場で他自治体からの応援職員に、災害まるわかり情報シートを使ってこの地域の状況を説明してみよう	17名

## 12 生活習慣病対策

### (1) 地域喫煙対策推進事業

ア たばこの健康への影響に関する知識について啓発を行った。

管内市の健康まつりにて、受動喫煙・禁煙に関する啓発ポスターを掲示、啓発物品を配布し、喫煙及び受動喫煙の健康への影響についての啓発を行った。

春日井市 2022 健康救急フェスティバル

令和4年9月4日(日)

イ 地域の関係者への情報提供

管内食品衛生協会主催の講習会等で改正健康増進法についてのパンフレットやチラシ配布により受動喫煙防止対策について飲食店関係者に周知した。

食品衛生協会小牧支部 食品衛生責任者再講習会

令和4年4月～令和5年1月(4回) 241名

(2) あいち健康マイレージ事業

行政・企業・関係団体等が連携を図り、社会全体で個人の健康づくりを支えるため「あいち健康マイレージ事業」を県と市が協働で実施しており、保健所では、市と連携した事業啓発の実施、協力店の募集及び認定事務等を行った。

ア チラシ配布による啓発

日時	対象等
令和4年4月から令和5年1月までの計4回	食品衛生協会小牧支部 食品衛生責任者再講習会 出席者 計241名

イ 協力店の認定

新規登録事業所 4件

(3) 食育推進協力店登録事業

家庭食だけではなく外食を含めた食生活の管理が一層重要になってきた今日、県民が安心して外食ができる環境整備のひとつとして食育推進協力店登録事業を実施している。令和4年度は新規登録店舗3店、更新店28店であった。また、本事業の定着を図るために飲食店関係者及び地域住民への研修会や講習会にて、326名にチラシ配布を行い啓発した。

13 栄養改善指導事業

(1) 栄養指導 回数(人員)

区分	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上
個別	0回(0人)	1回(1人)	0回(0人)	2回(2人)
集団	0回(0人)	0回(0人)	0回(0人)	40回(160人)

(2) 栄養改善連絡会議

通常、市町村栄養士や地域の栄養士を交えて年3回を目標に開催しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化のためすべて中止とした。

(3) 特定給食施設指導

給食施設管理者及び給食関係者に対し、栄養管理上で適切な援助及び指導を行い、給食内容の向上を図るとともに、給食を通じて喫食者への栄養教育が適切に行われ、喫食者の健康増進を推進するために、個別栄養管理指導を行った。

個別指導	特定給食施設	1回100食以上又は 1日250食以上	11回
		1回300食以上又は 1日750食以上	8回
	その他の給食施設	1回50食以上又は 1日100食以上	14回
集団指導		0回	

管理栄養士の必置指定施設であるが配置のない管内2施設に対して指導した。

(4) 推進員指導者研修

令和4年度食生活改善推進員指導者養成研修会を開催。テーマは「食を中心とした災害への備え」、

「ポリ袋調理」とし、実際の調理実習を交えて食生活改善推進員指導者に対して災害時の備えについて啓発した。

日付	主な内容	出席者
令和5年2月21日(火)	テーマ 「食を中心とした災害への備え」 「ポリ袋調理」 講師 名古屋文理大学短期大学 食物栄養学科教授 日比野久美子氏	25名

#### 14 歯科口腔保健対策事業

##### (1) 歯と口の健康づくり推進会議

日付	議題	出席者
令和5年1月19日(木)	(1)愛知県歯科口腔保健基本計画及び各市健康増進計画の推進について (2)春日井保健所地域歯科保健課題対応事業について	18名

##### (2) 地域歯科保健評価事業

地域歯科保健業務状況報告など地域の歯科保健データの収集・分析・評価・還元を行い、管内の関係機関・団体の課題解決に役立つ話題提供や資料提供を行った。

##### (3) 地域歯科保健課題対応事業

管内関係者からの聞き取りから、地域の課題を、乳幼児期の子育て支援の視点による口腔機能の発育発達支援とし、春日井市と小牧市のそれぞれの実情に合わせた会議及び研修会を開催した。ただし、コロナ禍であることを考慮し、管内各市からの求めに応じる形で3回の連絡会議と研修をコンパクトに同時開催した。いずれも助言者として豊田市こども発達センターのぞみ診療所から藤井美樹氏を招聘している。

第1回:令和4年8月4日(木)午前9時30分～午前11時30分 出席者 54名

第2回:令和4年8月4日(木)午後2時～午後4時 出席者 27名

第3回:令和4年10月13日(木)午後3時～午後5時 出席者 50名

##### (4) 地域歯科保健活動支援事業

乳幼児歯科保健活動支援15回、学齢期歯科保健活動支援15回、フッ化物洗口推進支援2回、歯周病対策推進支援4回、口腔ケア連携推進支援11回、医科歯科連携推進支援4回を実施。

#### 15 精神保健福祉対策事業

地域の精神保健福祉に関する普及啓発ならびに支援体制の整備を図ることを目的に、関係者及び一般住民を対象に以下の事業を計画していたが、(2)については、新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化のため中止とした。

##### (1) 春日井保健所地域精神保健福祉推進協議会(書面開催)

日付	議題	構成員
令和5年2月10日(金) (書面開催)	春日井保健所管内の精神保健福祉活動の状況、精神障害者の地域移行支援事業の推進等	16名

##### (2) 精神障がい者家族教室

##### (3) 尾張北部圏域精神障害者地域移行支援コア機関チーム会議(オンライン開催)

※江南保健所共催

日付	議題	出席者
第1回 令和5年2月17日(金)	令和3年度までの事業説明について 令和4年度の活動状況等	22名

16 メンタルヘルス対策事業

一般住民及び関係者を対象に以下のメンタルヘルス対策事業を計画していたが、(2)ア～キについては、新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化のため中止とした。

(1) メンタルヘルス相談

相談延件数:1,630件 訪問延件数:325件

(2) 連携と相談支援継続のための会議と研修等

ア ひきこもり地域関係機関ネットワーク会議

イ ひきこもりを考える家族の教室

ウ 自殺対策相談窓口ネットワーク会議

エ 自殺防止地域力強化事業 地域連携会議

オ 自殺防止地域力強化事業 自殺ハイリスク者支援研修

カ アルコール健康障害対応研修

キ アルコール健康障害対策地域連携会議

(3) 自殺予防街頭キャンペーン

令和4年9月は新型コロナウイルス感染症対策のため街頭キャンペーンを中止し、商工会等を通じて啓発資材を配布した。令和5年3月は、春日井市と共催での街頭キャンペーンで啓発資材を配布し普及啓発を図った。

17 結核対策事業

(1) 登録患者・家族等への個別支援のため、延べ328件の訪問を実施した。入院患者には退院後も確実な服薬ができるように、退院前に病院関係者とカンファレンスを行い、地域DOTSにつなげている。服薬支援のためのDOTS訪問は、延べ275件であった。

(2) コホート検討会は、結核の治療成績の分析と検討を行うとともに、確実な服薬継続支援のため医療機関等と保健所の連携のあり方を検討した。

ア 春日井市民病院・小牧市民病院とのコホート検討会

日時	内容	出席者
令和4年9月 (書面開催)	(1)新登録患者の状況について (2)連絡連携窓口について (3)結核各種様式における届け出時期と遅延理由書の取扱について	21名

イ 管内医療機関とのコホート検討会

日時	内容	出席者
令和5年2月 (書面開催)	(1)春日井保健所管内の結核患者発生状況 (2)令和3年登録者の結核治療コホート分析結果(治療終了者) (3)連絡連携窓口について (4)結核各種様式における届け出時期と遅延理由書の取り扱いについて	18名

18 難病対策事業

在宅難病患者に対して保健師等による面接相談、訪問、神経系難病患者・家族教室の実施等による支援をした。

災害時の支援体制について、難病対策地域協議会・地域ケア推進会議で管内市とともに検討をした。

(1) 面接 実54人 延64人

訪問 実23人 延48人

(2) 神経系難病患者・家族教室

日時	内容	出席者
令和4年10月31日(月) 午後2時～4時	運動療法「自宅で気軽に運動療法」 講師:小牧市リハビリテーション連絡会 訪問看護ステーションはみんぐ 理学療法士 伊岐見明日香氏 小牧第一病院 理学療法士 林亮介氏	患者 19名 家族 26名

(3) 難病対策地域協議会 ・ (4) 地域ケア推進会議(同時開催)

日時	議題	出席者
令和5年3月7日(火) 午後2時～4時	事例を通して発災直後の市として支援できること	13名

19 母子保健事業

(1) 市町村母子保健推進事業

管内市を対象とした母子保健推進会議等は新型コロナウイルス感染症対応により中止したが、他機関の開催する会議には感染状況に応じて出席した。

尾張北部医療圏域内市町を対象とした研修会を1回開催した。

子育て世代包括支援センター充実強化事業として、事例検討会を1回開催した。

(2) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

ピアカウンセリング事業や関係機関等連携会議は新型コロナウイルス感染症対応により中止したが、療育相談支援事業として面接相談や家庭訪問等を実施した。

(3) 安心安全な妊娠・出産サポート事業

大学と連携した健康教育を6回開催した。

## 1 各課関連の事業

# 1 各課関連の事業

## (1) 連絡調整会議

表 連絡調整に関する会議

(令和4年度)

	開催回数	参加機関・団体数		議事内容(延件数)							
		(再掲)福祉関係機関	総数	基本的実施方針に関する事項	実施体制の確保に関する事項	サービス提供の指針に関する事項	事業評価に関する事項	その他			
保健所主催	保健所保健医療福祉サービス調整推進会議	3	9	2	/						
	圏域保健医療福祉推進会議	本会	2	23							2
		ワーキンググループ	0	0							0
	地域医療構想推進委員会	本会	2	30							0
		ワーキンググループ	0	0							0
	健康危機管理関連会議等	5	71	0							
	地域・職域連携推進協議会	本会	0	0							0
		ワーキンググループ	1	22							0
	難病対策地域協議会	1	3	0							
その他	26	136	41								
参加	都道府県主催の会議への参加	28	/	/	53	24	11	11	4	3	
	市町村主催の会議への参加	42	/	/	59	40	8	2	14	6	
	(再掲)市町村主催の地域包括ケアに関する会議への参加	1	/	/	1	1	1	1	1	0	
	その他関係機関・団体主催の会議への参加	43	/	/	104	41	32	18	3	10	
	(再掲)介護保険関連の会議	3	/	/	12	3	3	3	0	3	

(注)1保健所主催の会議は、例示されている会議のうち主催している会議のみ記入する。

2上記表の斜線部分は、保健所で集計している場合は、記入しても支障なし。

## (2) 研修等

表 地域保健医療福祉関係者等への研修

(令和4年度)

	総数(結核・エイズ(再掲)を除く)。	保健計画の策定・地域診断	母子保健	生活習慣病対策	健康増進	医療・介護連携	歯科保健	感染症			精神保健福祉		難病	介護保険	健康危機管理	新任期人材育成	その他
								再掲	再掲	再掲	ヘルパー養成(再掲)						
												結核					
実施回数	11	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
参加延人数	271	0	41	0	0	0	136	0	0	0	0	0	0	0	18	76	0

(3) 調査・研究

調査・研究

(令和4年度)

	総数		全般		対人保健										
	(再掲) 健康危機管理	地域 診断	情報 システム	母子 保健	老人 保健	健康 増進	歯科 保健	感染症		精神 保健 福祉	介護 保険	難病	その他		
								(再掲) 結核	(再掲) エイズ						
件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	対物保健			
	医事・薬事	食品衛生	環境衛生	その他
件数	0	1	0	0

表2 調査・研究のテーマ

	担当課	テーマ	公表先
	食品安全課	配達弁当によるウエルシュ菌食中毒	食品衛生学雑誌

(4) 健康教育

(令和4年度)

	保健所		愛知県	
	開催回数	参加者延人数	開催回数	参加者延人数
総数	80	1,296	478	27,335
地区組織活動(再掲)	0	0	36	1,401
健康危機管理(再掲)	17	851	165	13,272
感染症	0	0	24	547
結核(再掲)	0	0	22	103
エイズ(再掲)	0	0	1	320
精神	1	171	34	1,004
難病	0	0	17	256
母子	6	119	29	1,222
成人・老人	0	0	0	0
栄養・健康増進	55	121	123	4,021
たばこ(再掲)	0	0	30	2,640
歯科	4	100	13	246
医事・薬事	0	0	1	230
食品	18	885	204	19,111
環境	0	0	12	446
その他	0	0	21	252

(5) 健康づくり・生活習慣病対策

表 圏域健康づくり推進特別事業(研修会、広報啓発活動等)

(令和4年度)

事業名	内 容	対象者	参加者数
① 普及啓発 情報の配布・配信	時期:令和4年11月～ 10分でわかる!オンライン版「健康づくり出前講座」のチラシを作成し配布。 また、保健所ホームページにて記事掲載	事業主・人事労務担当者	・紙媒体 1,294部配布 ・ホームページ 閲覧数(春日井・江南保健所) PV数5,792
② 普及啓発 世界糖尿病デー2022in春日井への参加	時期:令和4年11月13日(日) 内容:関係機関と連携イベントへの参加及び啓発ちらし・資材提供	イベント参加者	参加者26名 資材提供200部
③ 普及啓発 春日井市健康救急フェスティバル2022への参加	時期:令和4年9月3日(日) 内容:会場にて無人ブースを出展し、ポスター掲示及び啓発資材の配布	イベント参加者	来場者数 延5,100人 配布数50部
④ 普及啓発 保健所ホームページでの記事掲載	時期:通年 内容:当所ホームページに啓発ページを作成し、掲載 ①働く人の健康づくりガイド(第10号) ②県作成動画「特定健診を受けて元気で長生きしよう!」 ③健康づくり出前講座	事業主・人事労務担当者	・当所ホームページ閲覧数 PV数4,792
⑤ 普及啓発 保健所内でのポスター掲示及び啓発資材設置・配付	時期: ①令和3年4月～ ②令和3年9月中 内容: ①禁煙サポーターズ、COPD、あいち健康マイレージ、高血圧 ②スマートライフプロジェクトポスター	来所者	配布数 ①1,030個

## 2 総務企画課の事業

## 2 総務企画課の事業

### (1) 保健統計

表1 管内人口動態統計年次推移(10年間)

年次	人口	出生				死亡				自然増減		乳児死亡(再掲)			
		総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	総数	男	女	率
平成24年	453,673	4,386	2,221	2,165	9.7	3,521	1,937	1,584	7.8	865	1.9	15	10	5	3.4
平成25年	454,514	4,279	2,147	2,132	9.4	3,461	1,882	1,579	7.6	818	1.8	9	4	5	2.1
平成26年	455,239	4,177	2,181	1,996	9.2	3,512	1,947	1,565	7.7	665	1.5	13	9	4	3.1
平成27年	455,970	4,179	2,120	2,059	9.2	3,615	2,012	1,603	7.9	564	1.2	11	5	6	2.6
平成28年	456,495	3,954	1,991	1,963	8.7	3,655	2,004	1,651	8.0	299	0.7	9	5	4	2.3
平成29年	455,959	3,790	1,960	1,830	8.3	3,835	2,136	1,699	8.4	△ 45	△ 0.1	7	3	4	1.8
平成30年	455,845	3,647	1,860	1,787	8.0	3,872	2,144	1,728	8.5	△ 225	△ 0.5	4	2	2	1.1
令和元年	455,636	3,421	1,740	1,681	7.5	4,039	2,246	1,793	8.9	△ 618	△ 1.4	11	4	7	3.2
令和2年	457,512	3,294	1,664	1,630	7.2	4,042	2,223	1,819	8.8	△ 748	△ 1.6	6	5	1	1.8
令和3年	455,416	3,217	1,650	1,567	7.1	4,331	2,384	1,947	9.5	△ 1,114	△ 2.4	10	6	4	3.1
愛知県(R3年)	7,516,008	53,918	27,667	26,251	7.2	73,769	39,082	34,687	9.8	△ 19,851	△ 2.6	103	63	40	1.9
全国(R3年)	122,780,487	811,622	415,903	395,719	6.6	1,439,856	738,141	701,715	11.7	△ 628,234	△ 5.1	1,399	762	637	1.7

(注1) 人口は、管内が愛知県県民文化部統計課発表の総人口、愛知県及び全国が総務省統計局推計の日本人人口で各年10月1日現在である。

(注2) 数値は、確定数である。

(注3) 用語の説明 乳児死亡:生後1年未満の死亡 新生児死亡:生後4週未満の死亡 早期新生児死亡:生後1週未満の死亡

死産:妊娠満12週以後の死産 周産期死亡:妊娠満22週以後の死産+早期新生児死亡

(注4) 率算出の計算式 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率=出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚数/人口×1,000 乳児死亡・新生児死亡=乳児死亡・新生児死亡数/出生数×1,000

周産期死亡率=周産期死亡数/出生数+妊娠満22週以後の死産数×1,000 死産率=死産数/出産(出生+死産)数×1,000

表2 管内市町村別人口動態統計

(令和3年)

市町村	人口	出生				死亡				自然増減		乳児死亡(再掲)			
		総数	男	女	率	総数	男	女	率	実数	率	総数	男	女	率
総 数	455,416	3,217	1,650	1,567	7.1	4,331	2,384	1,947	9.5	△ 1,114	△ 2.4	10	6	4	3.1
春日井市	307,703	2,319	1,220	1,099	7.5	2,916	1,603	1,313	9.5	△ 597	△ 1.9	9	5	4	3.9
小 牧 市	147,713	898	430	468	6.1	1,415	781	634	9.6	△ 517	△ 3.5	1	1	0	1.1

(注) 数値は、確定数である。

(資料) 愛知県衛生年報

表1 管内人口動態統計年次推移(10年間)

年次	新生児死亡(再掲)				死産				周産期死亡(再掲)				婚姻		離婚	
	総数	男	女	率	総数	自然	人工	率	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡	率	実数	率	実数	率
平成24年	2	1	1	0.5	93	43	50	20.8	18	16	2	4.1	2,612	5.8	922	2.03
平成25年	4	3	1	0.9	92	47	45	21.0	23	19	4	5.4	2,609	5.7	884	1.94
平成26年	7	5	2	1.7	82	40	42	19.3	18	13	5	4.3	2,495	5.5	806	1.77
平成27年	4	3	1	1.0	67	38	29	16.7	13	9	4	3.3	2,468	5.4	818	1.79
平成28年	5	3	2	1.3	62	35	27	15.4	18	13	5	4.5	2,470	5.4	771	1.69
平成29年	7	3	4	1.8	80	40	40	20.7	14	11	3	3.7	2,437	5.3	790	1.73
平成30年	2	1	1	0.5	87	50	37	23.3	18	16	2	4.9	2,380	5.2	729	1.60
令和元年	5	2	3	1.5	71	39	32	21.1	16	14	2	4.8	2,411	5.3	804	1.76
令和2年	4	3	1	1.2	56	29	27	17.1	10	8	2	3.1	2,112	4.7	751	1.65
令和3年	6	3	3	1.9	48	28	20	14.7	11	6	5	3.4	1,926	4.2	695	1.53
愛知県(R3年)	54	29	25	1.0	994	512	482	18.1	189	146	43	3.5	33,509	4.5	11,130	1.48
全国(R3年)	658	346	312	0.8	16,277	8,082	8,195	19.7	2,741	2,235	506	3.4	501,138	4.1	184,384	1.50

表2 管内市町村別人口動態統計

(令和3年)

年次	新生児死亡(再掲)				死産				周産期死亡(再掲)				婚姻		離婚	
	総数	男	女	率	総数	自然	人工	率	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡	率	実数	率	実数	率
総数	6	3	3	1.9	48	28	20	14.7	11	6	5	3.4	1,926	4.2	695	1.53
春日井市	6	3	3	2.6	29	18	11	12.4	10	5	5	4.3	1,327	4.3	462	1.51
小牧市	0	0	0	0.0	19	10	9	20.7	1	1	0	1.1	599	4.0	233	1.56

表3 管内選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移(10年間)

年次	総数		Se01		Se02		Se14		Se15		Se16		Se21		Se25	
			結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧性疾患		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成24年	3,521	776.1	5	1.1	1,013	223.3	39	8.6	6	1.3	479	105.6	333	73.4	55	12.1
平成25年	3,461	761.5	7	1.5	1,051	231.2	20	4.4	7	1.5	472	103.8	292	64.2	46	10.1
平成26年	3,512	771.5	5	1.1	1,066	234.2	33	7.2	3	0.7	413	90.7	310	68.1	65	14.3
平成27年	3,615	794.1	6	1.3	1,064	233.7	31	6.8	8	1.8	455	99.9	281	61.7	58	12.7
平成28年	3,655	801.6	7	1.5	1,126	247.0	31	6.8	14	3.1	392	86.0	264	57.9	53	11.6
平成29年	3,835	841.1	12	2.6	1,127	247.2	33	7.2	14	3.1	461	101.1	240	52.6	67	14.7
平成30年	3,872	849.4	4	0.9	1,149	252.1	22	4.8	11	2.4	439	96.3	276	60.5	73	16.0
令和元年	4,039	882.8	3	0.7	1,179	257.7	25	5.5	11	2.4	424	92.7	268	58.6	68	14.9
令和2年	4,042	887.5	8	1.8	1,148	252.1	25	5.5	6	1.3	420	92.2	312	68.5	75	16.5
令和3年	4,331	951.0	7	1.5	1,181	259.3	35	7.7	17	3.7	476	104.5	294	64.6	84	18.4

(注1) 死亡分類は、「第10回修正国際疾病、傷害及び死因統計分類(ICD-10)」の選択死因分類による。

(注2) 「悪性新生物」は「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」は「心疾患(高血圧を除く)」である。

(注3) 数値は確定数である。

表4 管内市町村・選択死因別死亡数

(令和3年)

市町村	総数		Se01		Se02		Se14		Se15		Se16		Se21		Se25	
			結核		悪性新生物		糖尿病		高血圧性疾患		心疾患		脳血管疾患		大動脈瘤及び解離	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
総数	4,331	951.0	7	1.5	1,181	259.3	35	7.7	17	3.7	476	104.5	294	64.6	84	18.4
春日井市	2,916	947.7	7	2.3	796	258.7	26	8.4	12	3.9	326	105.9	197	64.0	57	18.5
小牧市	1,415	957.9	0	0.0	385	260.6	9	6.1	5	3.4	150	101.5	97	65.7	27	18.3
愛知県	73,769	981.5	115	1.5	20,031	266.5	549	7.3	253	3.4	8,751	116.4	4,882	65.0	1,189	15.8
全国	1,439,856	1172.7	1,845	1.5	381,505	310.7	14,356	11.7	10,223	8.3	214,710	174.9	104,595	85.2	19,351	15.8

(注1) 数値は、確定数である。

(注2) 「悪性新生物」は「悪性新生物<腫瘍>」、「心疾患」は「心疾患(高血圧を除く)」である。

(資料) 愛知県衛生年報

(資料) 令和3年(2021)人口動態統計(確定数)の概況. 厚生労働省

表3 管内選択死因別死亡数・率(人口10万対)年次推移(10年間)

年次	Se26		Se27		Se28		Se29		Se30		Se31		Se32		Se34			
	肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
平成24年	314	69.2	45	9.9	4	0.9	44	9.7	70	15.4	177	39.0	128	28.2	98	21.6	711	156.7
平成25年	325	71.5	23	5.1	2	0.4	48	10.6	59	13.0	201	44.2	93	20.5	75	16.5	740	162.8
平成26年	324	71.2	39	8.6	1	0.2	51	11.2	64	14.1	203	44.6	98	21.5	86	18.9	751	165.0
平成27年	317	69.4	29	6.4	3	0.7	52	11.4	77	16.9	264	57.8	112	24.5	81	17.7	777	170.2
平成28年	328	71.9	37	8.1	4	0.9	43	9.4	40	8.8	293	64.2	135	29.6	60	13.1	828	181.4
平成29年	253	55.5	44	9.6	4	0.9	46	10.1	68	14.9	338	74.1	136	29.8	68	14.9	924	202.6
平成30年	248	54.4	30	6.6	1	0.2	55	12.1	76	16.7	347	76.1	141	30.9	55	12.1	945	207.3
令和元年	249	54.6	39	8.6	1	0.2	52	11.4	75	16.5	394	86.5	112	24.6	68	14.9	1,071	235.1
令和2年	210	46.1	31	6.8	0	0	52	11.4	61	13.4	411	90.2	115	25.25	61	13.39	1,296	284.6
令和3年	217	47.6	43	9.4	0	0	40	8.8	70	15.4	477	104.7	126	27.7	69	15.2	1,195	262.4

表4 管内市町村・選択死因別死亡数

(令和3年)

年次	Se26		Se27		Se28		Se29		Se30		Se31		Se32		Se34			
	肺炎		慢性閉塞性肺疾患		喘息		肝疾患		腎不全		老衰		不慮の事故		自殺		その他	
	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
総 数	217	47.6	43	9.4	0	0.0	40	8.8	70	15.4	477	104.7	126	27.7	69	15.2	1195	262.4
春日井市	149	48.4	28	9.1	0	0.0	26	8.4	50	16.2	301	97.8	87	28.3	45	14.6	809	262.9
小 牧 市	68	46.0	15	10.2	0	0.0	14	9.5	20	13.5	176	119.1	39	26.4	24	16.2	386	261.3
愛 知 県	3,336	44.4	726	9.7	33	0.4	877	11.7	1,305	17.4	8,967	119.3	2,021	26.9	1,117	14.9	19,617	261.0
全 国	73,194	59.6	16,384	13.3	1,038	0.8	18,017	14.7	28,688	23.4	152,027	123.8	38,355	31.2	20,291	16.5	345,277	281.2

(2) 医療

医療法に基づき、必要に応じ病院、診療所に立ち入り、適正な管理指導を行い医療水準の向上と保健衛生の増進に努めた。

また、医療関係従事者の免許関係事務も行っている。

表1 病院数及び病床数 (令和4年10月1日現在)

	病院数	病床数	病床種別内訳				
		(人口万対比)	精神	感染症	結核	療養	一般
総数	16	3,481 ( 76.7 )	527	6	0	949	1,999
春日井市	13	2,671 ( 87.1 )	527	6	0	779	1,359
小牧市	3	810 ( 55.0 )	0	0	0	170	640
愛知県	317	65,695 ( 87.6 )	12,281	66	111	13,207	40,030
全国 (R4.9.30)	8,156	1,492,975 ( 119.6 )	321,828	1,909	3,863	278,694	886,663

表2 一般診療所、歯科診療所及び助産所数 (令和4年10月1日現在)

	一般診療所						歯科診療所数 (人口万対比)	助産所数 (人口万対比)
	総数 (人口万対比)	有床診療所数		左のうち、療養病床を有する診療所(再掲)		無床診療所数		
		施設数	病床数	施設数	病床数			
総数	314 ( 6.9 )	23	330	4	47	291	200 ( 4.4 )	9 ( 0.2 )
春日井市	211 ( 6.9 )	14	189	1	11	197	137 ( 4.5 )	7 ( 0.2 )
小牧市	103 ( 7.0 )	9	141	3	36	94	63 ( 4.3 )	2 ( 0.1 )
愛知県	5,677 ( 7.6 )	271	3,414	16	163	5,406	3,717 ( 5.0 )	239 ( 0.3 )
全国 (R4.9.30)	104,464 ( 8.3 )	6,215	84,142	643	6,337	98,246	68,041 ( 5.4 )	

表3 救急告示病院、診療所数 (令和4年末現在)

	病院			診療所		
	施設数	救急優先病床数	救急専用病床数	施設数	救急優先病床数	救急専用病床数
総数	5	61	32	0	0	0
春日井市	3	31	10	0	0	0
小牧市	2	30	22	0	0	0

表4 医療監視員等による立入検査等 (令和4年度)

	施設数	立入検査延件数	施設使用前検査件数
総数	925	210	13
病院	16	16	13
診療所	314	121	0
歯科診療所	200	63	0
助産所	9	3	0
施術所	320	6	
歯科技工所	66	1	

(注1) 施設数は令和4年10月1日現在(ただし、施術所及び歯科技工所は令和4年末現在)

表5 医療従事者数(従業地)

(令和2年末現在)

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
総数	864	317	847	119	170	3,874	717	378	121
春日井市	589	206	605	78	109	2,675	481	266	97
小牧市	275	111	242	41	61	1,199	236	112	24

## (3) 各種医療給付申請等

表1 小児慢性特定疾病医療費助成(実人員(うち新規実人員))

(令和4年度)

疾患区分	春日井市	小牧市	合計
悪性新生物	37 ( 9 )	15 ( 0 )	52 (9)
慢性腎疾患	11 ( 2 )	7 ( 0 )	18 (2)
慢性呼吸器疾患	6 ( 4 )	4 ( 1 )	10 (5)
慢性心疾患	29 ( 5 )	21 ( 5 )	50 (10)
内分泌疾患	31 ( 5 )	29 ( 0 )	60 (5)
膠原病	12 ( 1 )	6 ( 2 )	18 (3)
糖尿病	14 ( 5 )	16 ( 3 )	30 (8)
先天性代謝異常	4 ( 0 )	0 ( 0 )	4 (0)
血液疾患	11 ( 0 )	2 ( 1 )	13 (1)
免疫疾患	3 ( 0 )	1 ( 0 )	4 (0)
神経・筋疾患	26 ( 9 )	12 ( 4 )	38 (13)
慢性消化器疾患	19 ( 3 )	14 ( 3 )	33 (6)
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	8 ( 1 )	4 ( 0 )	12 (1)
皮膚疾患	0 ( 0 )	1 ( 0 )	1 (0)
骨系統疾患	4 ( 0 )	0 ( 0 )	4 (0)
脈管系疾患	1 ( 0 )	0 ( 0 )	1 (0)
合計	216 ( 44 )	132 ( 19 )	348 (63)

表2 指定難病特定医療費公費負担(年齢別)

(令和4年度末)

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
総数	3,018	0	8	183	233	424	524	502	1,144	32,817
1 球脊髄性筋萎縮症	7	0	0	0	0	0	2	2	3	67
2 筋萎縮性側索硬化症	28	0	0	0	1	1	2	3	21	308
3 脊髄性筋萎縮症	1	0	0	0	0	0	1	0	0	14
4 原発性側索硬化症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
5 進行性核上性麻痺	36	0	0	0	0	0	1	2	33	297
6 パーキンソン病	342	0	0	0	2	4	15	59	262	3,737
7 大脳皮質基底核変性症	15	0	0	0	0	0	0	2	13	116
8 ハンチントン病	5	0	0	1	0	1	3	0	0	28
9 神経有棘赤血球症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10 シャルコー・マリー・トゥース病	1	0	0	0	0	0	0	1	0	8
11 重症筋無力症	72	0	0	1	4	9	12	11	35	906
12 先天性筋無力症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 多発性硬化症/視神経脊髄炎	74	0	1	4	6	15	22	12	14	748
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎	16	0	0	0	3	4	1	3	5	170
15 多巣性運動ニューロパチー	3	0	0	0	0	0	1	1	1	28
16 封入体筋炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
17 クロウ・深瀬症候群	25	0	0	0	0	0	2	5	18	312
18 多系統萎縮症	94	0	0	2	1	5	12	17	57	752
19 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	5	0	0	1	0	1	0	2	1	76
20 ライソゾーム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
21 副腎白質ジストロフィー	5	0	0	1	0	1	3	0	0	36
22 ミトコンドリア病	37	0	1	1	8	8	10	8	1	449
23 もやもや病	2	0	0	0	0	0	0	1	1	19
24 プリオン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
25 亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
26 進行性多巣性白質脳症	4	0	0	0	0	1	1	0	2	18
27 HTLV-1 関連脊髄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28 特発性基底核石灰化症	12	0	0	0	0	1	1	3	7	165
29 全身性アミロイドーシス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 ウルリッヒ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
31 遠位型ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 ベスレムミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 自己貧食空胞性ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 シュワルツ・ヤンペル症候群	10	0	0	2	1	3	3	0	1	122
35 神経線維腫症	15	0	0	1	0	1	6	4	3	119
36 天疱瘡	2	0	0	1	0	1	0	0	0	9
37 表皮水疱症	5	0	0	0	0	1	2	2	0	84
38 膿疱性川乾癬(汎発型)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
39 スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
40 中毒性表皮壊死症	7	0	0	2	2	0	0	0	3	113
41 高安動脈炎	7	0	0	0	0	0	0	1	6	86
42 巨細胞性動脈炎	4	0	0	0	0	1	1	0	2	71
43 結節性多発動脈炎	29	0	0	0	1	2	5	1	20	394
44 顕微鏡的多発血管炎	7	0	0	0	0	0	0	3	4	129
45 多発血管炎性肉芽腫症	20	0	0	0	0	5	4	5	6	206
46 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	0	0	0	0	0	0	0	3	54
47 悪性関節リウマチ	3	0	0	0	0	0	2	0	1	31
48 パーリジヤー病	2	0	0	0	0	1	0	0	1	27
49 原発性抗リン脂質抗体症候群	199	0	1	21	21	41	44	36	35	2,165
50 全身性エリテマトーデス	76	0	0	2	2	6	19	12	35	900
51 皮膚筋炎/多発性筋炎	91	0	0	1	1	10	15	17	47	891
52 全身性強皮症	30	0	0	0	4	3	12	9	2	287
53 混合性結合組織病	73	0	0	0	3	12	14	13	31	346
54 シェーグレン症候群	14	0	0	1	0	2	3	3	5	160
55 成人スチル病	6	0	0	0	0	1	2	1	2	39
56 再発性多発軟骨炎	31	0	0	1	1	10	7	4	8	402
57 ベーチェット病	33	0	0	0	0	2	12	8	11	378
58 特発性拡張型心筋症	15	0	0	2	0	3	0	5	5	78
59 肥大型心筋症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
60 拘束型心筋症	31	0	0	3	0	5	4	3	16	290
61 再生不良性貧血	4	0	0	0	1	0	0	2	1	65
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	0	0	0	0	0	1	0	1	35

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
63 特発性血小板減少性紫斑病	76	0	0	2	1	4	5	12	52	699
64 血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	0	0	0	1	0	0	0	17
65 原発性免疫不全症候群	3	0	0	2	0	0	0	0	1	57
66 IgA腎症	37	0	0	2	5	9	5	6	10	415
67 多発性嚢胞腎	38	0	0	0	4	11	9	9	5	419
68 黄色靱帯骨化症	9	0	0	0	1	1	1	1	5	130
69 後縦靱帯骨化症	97	0	0	0	1	5	21	15	55	813
70 広範脊柱管狭窄症	6	0	0	0	0	0	0	0	6	57
71 特発性大腿骨頭壊死症	41	0	0	0	4	7	8	10	12	587
72 下垂体性ADH分泌異常症	16	0	0	4	2	2	4	1	3	161
73 下垂体性TSH分泌亢進症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
74 下垂体性PRL分泌亢進症	7	0	0	1	1	1	3	1	0	72
75 クッシング病	6	0	0	0	2	1	2	1	0	44
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20	0	0	1	2	4	1	6	6	206
78 下垂体前葉機能低下症	64	0	2	5	6	12	17	6	16	667
79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
80 甲状腺ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	2	0	0	2	0	0	0	0	0	31
82 先天性副腎低形成症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
83 アジソン病	2	0	0	0	0	0	0	1	1	6
84 サルコイドーシス	46	0	0	0	1	2	10	14	19	535
85 特発性間質性肺炎	80	0	0	0	0	4	5	18	53	692
86 肺動脈性肺高血圧症	13	0	0	1	0	0	2	2	8	122
87 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
88 慢性血栓性肺高血圧症	19	0	0	0	0	0	2	2	15	172
89 リンパ管腫症	5	0	0	0	0	3	1	1	0	29
90 網膜色素変性症	48	0	0	1	2	2	4	10	29	520
91 バッド・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
92 特発性門脈圧亢進症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
93 原発性胆汁性胆管炎	12	0	0	0	0	2	1	3	6	189
94 原発性硬化性胆管炎	3	0	0	1	0	1	1	0	0	45
95 自己免疫性肝炎	10	0	0	1	1	1	2	0	5	167
96 クローン病	178	0	0	40	46	41	32	10	9	2,228
97 潰瘍性大腸炎	460	0	1	55	76	106	94	71	57	5,607
98 好酸球性消化管疾患	3	0	0	0	1	1	1	0	0	32
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
101 腸管神経節細胞僅小症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
103 CFC症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
104 コステロ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
105 チャーロジ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
106 クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
107 若年性特発性関節炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
108 TNF受容体関連周期性症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
109 非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
110 ブラウ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
111 先天性ミオパチー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
113 筋ジストロフィー	7	0	0	1	2	1	1	2	0	71
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
116 アトピー性脊髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
117 脊髄空洞症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
118 脊髄髄膜瘤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
119 アイザックス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
120 遺伝性ジストニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
121 神経フェリチン症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	0	0	0	0	0	1	0	0	10
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
126 ペリー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
127 前頭側頭葉変性症	1	0	0	0	0	0	0	1	0	17
128 ビッカーstaff脳幹脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
130 先天性無痛無汗症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
131 アレキサンダー病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
132 先天性核上性球麻痺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
133 メビウス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
135 アイカルディ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
136 片側巨脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
137 限局性皮質異形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
138 神経細胞移動異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
139 先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
140 ドラベ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142 ミオクロニー欠てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
145 ウエスト症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
146 大田原症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
147 早期ミオクロニー脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150 環状20番染色体症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
151 ラスムッセン脳炎	2	0	1	0	1	0	0	0	0	4
152 P C D H 19 関連症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
156 レット症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
158 結節性硬化症	4	0	0	1	0	3	0	0	0	23
159 色素性乾皮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
160 先天性魚鱗癬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
161 家族性良性慢性天疱瘡	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3
162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15	0	0	0	0	1	3	2	9	105
163 特発性後天性全身性無汗症	2	0	0	0	1	1	0	0	0	27
164 眼皮膚白皮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
165 肥厚性皮膚骨膜症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
166 弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
167 マルフアン症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0	25
168 エーラス・ダロス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
169 メンケス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
170 オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
171 ウイルソン病	1	0	0	1	0	0	0	0	0	16
172 低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
173 VATER 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
174 那須・ハコラ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
175 ウィンバー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
176 コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
177 ジュベール症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
178 モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
179 ウィリアムズ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
180 A T R - X 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
181 クルーゾン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
182 アペール症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
183 ファイファー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
184 アントレー・ピクスラー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
185 コフィン・シリス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
186 ロスマンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
187 歌舞伎症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
188 多脾症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
189 無脾症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
190 鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
191 ウェルナー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
192 コケイン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
193 プラダー・ウィリ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
194 ソトス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
195 ヌーナン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
196 ヤング・シンブソン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
197 1 p36 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
198 4 p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
199 5 p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
201 アンジェルマン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
202 スミス・マガニス症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
203 2 2 q11.2 欠失症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
204 エマヌエル症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
205 脆弱X症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
206 脆弱X症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
207 総動脈幹遺残症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
208 修正大血管転位症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
209 完全大血管転位症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
210 単心室症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
211 左心低形成症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
212 三尖弁閉鎖症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
215 ファロー四徴症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
216 両大血管右室起始症	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5
217 エプスタイン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
218 アルポート症候群	1	0	0	1	0	0	0	0	0	11
219 ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
220 急速進行性糸球体腎炎	3	0	0	0	0	0	0	1	2	36
221 抗糸球体基底膜腎炎	3	0	0	0	0	1	0	0	2	13
222 一次性ネフローゼ症候群	53	0	0	7	3	10	9	7	17	535
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	21
224 紫斑病性腎炎	3	0	0	0	0	1	1	0	1	39
225 先天性腎性尿崩症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	22
227 オスラー病	4	0	0	0	0	0	1	2	1	25
228 閉塞性細気管支炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	10
230 肺胞低換気症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
231 α1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
232 カーニ-複合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
233 ウォルフラム症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
235 副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
236 偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	0	0	0	0	2	0	0	0	27
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
240 フェニルケトン尿症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
241 高チロシン血症1型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
242 高チロシン血症2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
243 高チロシン血症3型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
244 メープルシロップ尿症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
245 プロピオン酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
246 メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
247 イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
249 グルタル酸血症1型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
250 グルタル酸血症2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
251 尿素サイクル異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
253 先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
254 ボルフィリン症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
256 筋型糖原病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
257 肝型糖尿病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
258 ガラクトースー1ーリン酸ウリジル トランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
259 レシチンコレステロールアシルトランス フェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
260 シトステロール血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
261 タンジール病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
262 原発性高カイロミクロン血症	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
263 脳腱黄色腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
264 無βリポタンパク血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
265 脂肪萎縮症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
266 家族性地中海熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
267 高IgD症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
268 中條・西村症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・ アケネ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
270 慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
271 強直性脊椎炎	23	0	0	1	3	9	7	2	1	166
272 進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
274 骨形成不全症	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4
275 タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
276 軟骨無形成症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
277 リンパ管腫症/ゴーハム病	1	0	0	0	0	0	1	0	0	4
278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
279 巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
281 クリップル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
282 先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
283 後天性赤芽球癆	2	0	0	0	0	0	0	1	1	37
284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
285 ファンコニ貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
286 遺伝性鉄芽球形貧血	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
287 エプスタイン症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	0	0	0	0	0	0	0	1	20
289 クロンカイト・カナダ症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
290 非特異性多発性小腸潰瘍症	2	0	0	0	0	1	0	0	1	4
291 ヒルシュブルンゲ病 (全結腸型又は小腸型)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
292 総排泄腔外反症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
293 総排泄腔遺残	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
294 先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
295 乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
296 胆道閉鎖症	1	0	0	0	0	1	0	0	0	15
297 アラジール症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
298 遺伝性性腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
299 嚢胞性線維症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
300 IgG4関連疾患	5	0	0	0	0	0	2	1	2	75
301 黄斑ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
302 レーベル遺伝性視神経症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
303 アッシャー症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
304 若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
305 遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
306 好酸性副鼻腔炎	61	0	0	1	4	10	19	17	10	569
307 カナバン病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
308 進行性白質脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
309 進行性ミオクローヌステんかん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
310 先天異常症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群) / LMX1B関連腎症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
316 カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
317 三頭酵素欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
318 シトリン欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
319 セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
321 非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
322 β-ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
324 メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
325 遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
326 大理石骨病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるもの)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	16
328 前眼部形成異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
329 無虹彩症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
331 特発性多中心性キャッスルマン病	5	0	0	0	0	1	1	3	0	78
332 膠様滴状角膜ジストロフィー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
333 ハッチンソン・ギルフォード症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
334 脳クレアチン欠乏症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
335 ネフロン癆	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
336 家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
337 ホモシスチン尿症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
338 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表3 指定難病特定医療費公費負担(市別)

(令和4年度末)

疾患名	計	春日井市	小牧市
総数	3,018	2,101	917
1 球脊髄性筋萎縮症	7	6	1
2 筋萎縮性側索硬化症	28	19	9
3 脊髄性筋萎縮症	1	1	0
4 原発性側索硬化症	0	0	0
5 進行性核上性麻痺	36	27	9
6 パーキンソン病	342	238	104
7 大脳皮質基底核変性症	15	12	3
8 ハンチントン病	5	3	2
9 神経有棘赤血球症	0	0	0
10 シャルコー・マリー・トゥース病	1	1	0
11 重症筋無力症	72	45	27
12 先天性筋無力症候群	0	0	0
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	74	46	28
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	16	10	6
15 封入体筋炎	3	0	3
16 クロウ・深瀬症候群	0	0	0
17 多系統萎縮症	25	19	6
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	94	59	35
19 ライソゾーム病	5	4	1
20 副腎白質ジストロフィー	0	0	0
21 ミトコンドリア病	5	1	4
22 もやもや病	37	23	14
23 プリオソン病	2	2	0
24 亜急性硬化性全脳炎	0	0	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	0	0
26 HTLV-1 関連脊髄症	4	2	2
27 特発性基底核石灰化症	0	0	0
28 全身性アミロイドーシス	12	8	4
29 ウルリッヒ病	0	0	0
30 遠位型ミオパチー	0	0	0
31 ベスレムミオパチー	0	0	0
32 自己食食空胞性ミオパチー	0	0	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0
34 神経線維腫症	10	4	6
35 天疱瘡	15	11	4
36 表皮水疱症	2	2	0
37 膿疱性乾癬(汎発型)	5	5	0
38 ステイヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0
39 中毒性表皮壊死症	0	0	0
40 高安静脈炎	7	6	1
41 巨細胞性動脈炎	7	6	1
42 結節性多発動脈炎	4	3	1
43 顕微鏡的多発血管炎	29	20	9
44 多発血管炎性肉芽腫症	7	4	3
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20	14	6
46 悪性関節リウマチ	3	3	0
47 パーシヤー病	3	2	1
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	2	2	0
49 全身性エリテマトーデス	199	139	60
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	76	51	25
51 全身性強皮症	91	65	26
52 混合性結合組織病	30	19	11
53 シェーグレン症候群	73	52	21
54 成人ステル病	14	11	3
55 再発性多発軟骨炎	6	3	3
56 ベーチエット病	31	27	4
57 特発性拡張型心筋症	33	27	6
58 肥大型心筋症	15	14	1
59 拘束型心筋症	0	0	0
60 再生不良性貧血	31	27	4
61 自己免疫性溶血性貧血	4	3	1
62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	0	2
63 特発性血小板減少性紫斑病	76	53	23
64 血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	1
65 原発性免疫不全症候群	3	3	0
66 IgA腎症	37	27	10

疾患名	計	春日井市	小牧市
67 多発性嚢胞腎	38	21	17
68 黄色靱帯骨化症	9	5	4
69 後縦靱帯骨化症	97	70	27
70 広範脊柱管狭窄症	6	5	1
71 特発性大腿骨頭壊死症	41	29	12
72 下垂体性ADH分泌異常症	16	9	7
73 下垂体性TSH分泌亢進症	0	0	0
74 下垂体性PRL分泌亢進症	7	2	5
75 クッシング病	6	4	2
76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0
77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	20	12	8
78 下垂体前葉機能低下症	64	44	20
79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	0	0
80 甲状腺ホルモン不応症	0	0	0
81 先天性副腎皮質酵素欠損症	2	2	0
82 先天性副腎低形成症	0	0	0
83 アジソン病	2	0	2
84 サルコイドーシス	46	36	10
85 特発性間質性肺炎	80	65	15
86 肺動脈性肺高血圧症	13	8	5
87 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0	0	0
88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	19	12	7
89 リンパ管筋腫症	5	4	1
90 網膜色素変性症	48	34	14
91 バッド・キアリ症候群	0	0	0
92 特発性門脈圧亢進症	0	0	0
93 原発性胆汁性胆管炎	12	7	5
94 原発性硬化性胆管炎	3	2	1
95 自己免疫性肝炎	10	8	2
96 クローン病	178	120	58
97 潰瘍性大腸炎	460	327	133
98 好酸球性消化管疾患	3	1	2
99 慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0
100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0
101 腸管神経節細胞減少症	0	0	0
102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0
103 CFC 症候群	0	0	0
104 コステロ症候群	0	0	0
105 チャージ症候群	0	0	0
106 クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0
107 若年性特発性関節炎	0	0	0
108 TNF受容体関連周期性症候群	0	0	0
109 非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0
110 プラウ症候群	0	0	0
111 先天性ミオパチー	0	0	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0
113 筋ジストロフィー	7	0	7
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0
116 アトピー性脊髄炎	0	0	0
117 脊髄空洞症	0	0	0
118 脊髄髄膜瘤	0	0	0
119 アイザックス症候群	0	0	0
120 遺伝性ジストニア	0	0	0
121 神経フェリチン症	0	0	0
122 脳表へモジデリン沈着症	0	0	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	0	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈	1	1	0
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白	0	0	0
126 ペリー症候群	0	0	0
127 前頭側頭葉変性症	1	1	0
128 ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	0	0
130 先天性無痛汗症	0	0	0
131 アレキサンダー病	0	0	0
132 先天性核上性球麻痺	0	0	0
133 メビウス症候群	0	0	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0
135 アイカルデー症候群	0	0	0
136 片側脳巨症	0	0	0
137 限局性皮質異形成	0	0	0

疾患名	計	春日井市	小牧市
138 神経細胞移動異常症	0	0	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	0	0
140 ドラベ症候群	0	0	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0
142 ミオクロニー欠神てんかん	0	0	0
143 ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0
144 レノックス・ガストー症候群	0	0	0
145 ウエースト症候群	0	0	0
146 大田原症候群	0	0	0
147 早期ミオクロニー脳症	0	0	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	0	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0
150 環状20番染色体症候群	0	0	0
151 ラスムッセン脳炎	2	1	1
152 P C D H 19 関連症候群	0	0	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0
156 レット症候群	0	0	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0
158 結節性硬化症	4	1	3
159 色素性乾皮症	0	0	0
160 先天性魚鱗癬	0	0	0
161 家族性良性慢性天疱瘡	1	1	0
162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	15	10	5
163 特発性後天性全身性無汗症	2	1	1
164 眼皮膚膚白皮症	0	0	0
165 肥厚性皮膚骨膜症	0	0	0
166 弾性線維性仮性黄色腫	0	0	0
167 マルフアン症候群	1	0	1
168 エーラス・ダンロス症候群	0	0	0
169 メンケス病	0	0	0
170 オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0
171 ウィルソン病	1	0	1
172 低ホスファターゼ症	0	0	0
173 V A T E R 症候群	0	0	0
174 那須・ハコラ病	0	0	0
175 ウイナーバー症候群	0	0	0
176 コフィン・ローリー症候群	0	0	0
177 ジュベール症候群関連疾患	0	0	0
178 モワット・ウィルソン症候群	0	0	0
179 ウィリアムズ症候群	0	0	0
180 A T R - X 症候群	0	0	0
181 クルーゾン症候群	0	0	0
182 アペール症候群	0	0	0
183 ファイファー症候群	0	0	0
184 アントレー・ピクスラー症候群	0	0	0
185 コフィン・シリズ症候群	0	0	0
186 ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0
187 歌舞伎症候群	0	0	0
188 多脾症候群	0	0	0
189 無脾症候群	0	0	0
190 鰓耳腎症候群	0	0	0
191 ウェルナー症候群	0	0	0
192 コケイン症候群	0	0	0
193 プラダー・ウィリ症候群	0	0	0
194 ソトス症候群	0	0	0
195 ヌーナン症候群	0	0	0
196 ヤング・シンプソン症候群	0	0	0
197 1 p 36 欠失症候群	0	0	0
198 4 p 欠失症候群	0	0	0
199 5 p 欠失症候群	0	0	0
200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0
201 アンジェルマン症候群	0	0	0
202 スミス・マギニス症候群	0	0	0
203 22 q 11.2 欠失症候群	0	0	0
204 エマヌエル症候群	0	0	0
205 脆弱X症候群関連疾患	0	0	0
206 脆弱X症候群	0	0	0
207 総動脈幹遺残症	0	0	0
208 修正大血管転位症	0	0	0
209 完全大血管転位症	0	0	0

疾患名	計	春日井市	小牧市
210 単心室症	0	0	0
211 左心低形成症候群	0	0	0
212 三尖弁閉鎖症	0	0	0
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0
215 フアローー四徴症	0	0	0
216 両大血管右室起始症	1	1	0
217 エブスタイン病	0	0	0
218 アルポート症候群	1	1	0
219 ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0
220 急速進行性糸球体腎炎	3	3	0
221 抗糸球体基底膜腎炎	3	2	1
222 一次性ネフローゼ症候群	53	36	17
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1	0
224 紫斑病性腎炎	3	3	0
225 先天性腎性尿崩症	0	0	0
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	1	0
227 オスラー病	4	4	0
228 閉塞性細気管支炎	0	0	0
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	1	1	0
230 肺胞低換気症候群	0	0	0
231 $\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	0	0
232 カニ複合	0	0	0
233 ウォルフラム症候群	0	0	0
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く)	0	0	0
235 副甲状腺機能低下症	0	0	0
236 偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	2	0
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0
240 フェニルケトン尿症	0	0	0
241 高チロシン血症1型	0	0	0
242 高チロシン血症2型	0	0	0
243 高チロシン血症3型	0	0	0
244 メープルシロップ尿症	0	0	0
245 プロピオン酸血症	0	0	0
246 メチルマロン酸血症	0	0	0
247 イソ吉草酸血症	0	0	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	0	0
249 グルタル酸血症1型	0	0	0
250 グルタル酸血症2型	0	0	0
251 尿素サイクル異常症	0	0	0
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0
253 先天性葉酸吸収不全	0	0	0
254 ポルフイリン症	0	0	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0
256 筋型糖原病	0	0	0
257 肝型糖原病	0	0	0
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠	0	0	0
259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠	0	0	0
260 シトステロール血症	0	0	0
261 タンジール病	0	0	0
262 原発性高カイロミクロン血症	1	0	1
263 脳髄黄色腫症	0	0	0
264 無 $\beta$ リポタンパク血症	0	0	0
265 脂肪萎縮症	0	0	0
266 家族性地中海熱	0	0	0
267 高IgD症候群	0	0	0
268 中條・西村症候群	0	0	0
269 化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	0	0
270 慢性再発性多発性骨髄炎	0	0	0
271 強直性脊椎炎	23	15	8
272 進行性骨化性線維異形成症	0	0	0
273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0
274 骨形成不全症	1	0	1
275 タナトフォリック骨異形成症	0	0	0
276 軟骨無形成症	0	0	0
277 リンパ管腫症/ゴーハム病	1	1	0
278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0
279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0	0	0
280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0	0	0

疾患名	計	春日井市	小牧市
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0
283	後天性赤芽球癆	0	2
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0
285	ファンコニ貧血	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2	1
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	1	0
292	総排泄腔外反症	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0
296	胆道閉鎖症	1	0
297	アラジール症候群	0	0
298	遺伝性性腺炎	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0
300	I g G 4 関連疾患	5	1
301	黄斑ジストロフィー	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0
303	アッシャー症候群	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	61	15
307	カナバシ病	0	0
308	進行性白質脳症	0	0
309	進行性ミオクロームステんかん	0	0
310	先天性異常症候群	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0
318	シトリン欠損症	0	0
319	セピアテリン還元酵素(SR)欠損症	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0
326	大理石骨病	0	0
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限)	1	1
328	前眼部形成異常	0	0
329	無虹彩症	0	0
330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0	0
331	特発性多中心性キャスルマン病	5	1
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0	0
335	ネフロン癆	0	0
336	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	0	0
337	ホモシスチン尿症	0	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0	0

表4 特定疾患医療費公費負担(年齢別実人員)

(令和4年度末)

疾患名	計	10歳未満	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	愛知県
総数	7	0	0	0	0	1	0	1	5	93
1 スモン	3	0	0	0	0	0	0	1	2	38
2 難治性の肝炎	(1) 劇症肝炎	1	0	0	0	1	0	0	0	11
	(2) 血清肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	(3) 肝硬変	3	0	0	0	0	0	0	3	37
3 重症急性膵炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
4 プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表5 特定疾患医療費公費負担(市町村別実人員)

(令和4年度末)

疾患名	計	春日井市	小牧市
総数	7	6	1
1 スモン	3	2	1
2 難治性の肝炎	(1) 劇症肝炎	2	0
	(2) 血清肝炎	0	0
	(3) 肝硬変	2	0
3 重症急性膵炎	0	0	0
4 プリオン病(ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る)	0	0	0

表6 成人血友病等医療費公費負担(実人員)

(令和4年度末)

	対象者数	愛知県
先天性血液凝固因子欠乏症等	26	417

表7 B型・C型肝炎患者医療費公費負担[受給者票交付件数]

(令和4年度末)

	交付件数(対象延人数)	愛知県	
インターフェロン治療	B型慢性肝炎	0	2
	C型慢性肝炎	0	0
	代償性肝硬変	0	0
	2回目の制度利用	0	0
核酸アナログ製剤治療	新規	27	348
	更新	224	3,359
インターフェロンフリー治療	C型慢性肝炎	21	361
	代償性肝硬変	4	45
	非代償性肝硬変	0	12

(注1)有効期間延長に係る受給者票の交付件数は含まない。

(注2)当該年度に交付された受給者票の有効期間は、必ずしも当該年度中にあるとは限らない。

表8 肝がん・重度肝硬変患者医療費公費負担[受給者] (令和4年度末)

	交付件数 (対象延人員)	愛知県 (名古屋市を含む)
肝がん治療	1	24
重度肝硬変治療	0	1
肝がん治療・重度肝硬変治療併用	0	5

(注)当該年度に交付された受給者票の有効期間は、必ずしも当該年度中にあるとは限らない。

(4) 原子爆弾被爆者

表 健康診断実施状況

(令和4年度)

健診区分	対象人員 (延人員)	受診人員 (延人員)	要精密検査者 (延人員)	精密検査受診者 (延人員)
第1回(令和4年6月及び7月)	113	11	5	0
第2回(令和4年11月)	104	15	8	0

(5) 介護(保険)

表1 介護老人保健施設

令和5年4月1日現在

	施設数	入所定員数
総 数	7	711
春 日 井 市	5	511
小 牧 市	2	200
愛 知 県	192	18,284

表2 介護医療院

令和4年6月1日現在

	施設数	入所定員数
総 数	1	38
春 日 井 市	1	38
小 牧 市	0	0
愛 知 県	192	18,284

(6) 特定不妊治療費助成

表 特定不妊治療費助成

(令和4年度)

	実組数	助成件数				男性不妊治療 助成件数
		計	治療内容(再掲)			
			治療区分 A・B・D・E	治療区分 C・F	男性不妊 治療のみ	
総 数	232	336	160	175	1	2
春日井市	174	246	116	130	0	1
小牧市	58	90	44	45	1	1

(注1)「男性不妊治療助成件数」欄は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の件数と男性不妊治療のみの件数の合計を記入すること。

(注2)治療区分

- A 新鮮胚移植を実施
- B 凍結胚移植を実施(受精卵を一旦凍結し、母体の調整後胚移植)
- C 以前凍結した胚を解凍して胚移植を実施
- D (採卵後)体調不良等により移植の目途が立たず治療終了
- E 受精できず、または、採卵し受精させたが、異常授精等により中止
- F 採卵したが、状態の良い卵が得られない等により中止

### 3 生活環境安全課の事業

### 3 生活環境安全課の事業

#### (1) 薬務

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づき、薬局、医薬品販売業等の施設に立ち入り、医薬品等の適正管理及び販売がされるよう監視指導を行った。また、毒物劇物についても、製造業者、販売業者、業務上取扱者等に対し、使用方法、保管管理等を指導し危害防止に努めた。

献血事業については、医学の進歩により今後ますます増大する輸血用血液の需要に対処するため、春日井市、小牧市、献血推進協議会と協力して、献血思想の普及啓発を行い、目標達成に努めた。

表1 薬事関係施設及び監視状況

(令和4年度末)

	薬局	医薬品販売業						等販売管理医療機器・貸与業	再生医療等製品販売業	医薬部外品製造販売業等	毒物劇物営業者				毒物劇物業務上取扱者					特定毒物使用者 (知事指定)	特定毒物研究者
		店舗	卸売	薬種商	特例	配置	製造・輸入業				販売業			電気めつき業	金属熱処理業	運送業	しろあり防除業	届出不要業務上取扱者			
											一般	農薬用品目	特定品目								
総数	218	93	44			4	216	3	59	13	157	23	6	8	0	0	0		1	3	
春日井市	150	54	21			2	138	2	32	4	83	13	3	5	0	0	0		0	1	
小牧市	68	39	23			2	78	1	25	9	74	10	3	3	0	0	0		1	2	
新規許可等件数	7	4	5				15				5	0	0	0	0	0	0				
更新許可件数	31	20	6				44				26	2	0								
廃止件数	5	2	7				8				9	0	1	0	0	0	0				
延監視件数 (監視実施施設数)	114 (78)	21 (19)	8 (6)			0	68 (54)	0	3 (3)	1 (1)	53 (43)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	
春日井市	81 (53)	11 (10)	4 (2)			0	45 (35)	0	0 (0)	1 (1)	39 (30)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	
小牧市	33 (25)	10 (9)	4 (4)			0	23 (19)	0	3 (3)	0 (0)	14 (13)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	

(注) 医薬部外品製造販売業等は医薬部外品製造販売業・製造業(GMPが適用される施設を除く。)、化粧品製造販売業・製造業及び医療機器修理業(構造設備の変更届に係る確認を含む)。監視延件数の下段(括弧内)は監視実施施設数。

表2 薬事相談件数及び薬物中毒発生状況

薬事相談件数

(令和4年度)

区分	医薬品	医薬部外品	化粧品	医療機器	再生医療等製品	健康食品健康器具	毒劇物	その他	計
相談件数	0	0	0	5	0	0	1	0	6

薬物中毒発生状況

薬物	農薬		農薬以外の毒劇物	医薬品	その他	計
	毒劇物(再掲)					
事故件数	0	0	0	0	0	0
死亡数	0	0	0	0	0	0

表3 献血状況

(令和4年度)

	献血目標単位	献血実績単位	達成率(%)	献血方法別実績単位		献血申込者数
				200mL献血	400mL献血	
				単位	単位	
総数	10,738 (5,429人)	11,872 (6,034人)	111.1	196	11,676	7,064
春日井市	4,116 (2,081人)	5,195 (2,644人)	127.1	93	5,102	3,209
小牧市	6,622 (3,348人)	6,677 (3,390人)	101.3	103	6,574	3,855

(注) 献血目標及び実績(単位)は、200mL献血を1単位、400mL献血を2単位に換算。成分献血は除く。

表4 献血推進啓発街頭活動実施状況（令和4年度）

延実施回数	延実施者数	啓発資材配布個数
1回	人	個
1	-	100

表5 骨髄バンクドナー登録推進街頭活動実施状況（令和4年度）

延実施回数	延実施者数	啓発資材配布個数
1回	人	個
1	2	100

表6 骨髄バンクドナー登録受付者数（令和4年度）

延実施日数	登録受付者数
日	人
7	3

表7 麻薬関係免許件数（令和4年度）

	麻薬施用者	麻薬管理者	麻薬小売業者
管内免許者実数	634	44	188
免許件数	311	30	75
変更件数	121	1	6
返納件数	265	24	68
廃止件数	45	3	7

表8 麻薬関係監視状況（令和4年度）

		麻薬小売業者	麻薬診療施設	麻薬研究者	麻薬卸売業者
総	数	188	137	0	0
市別	春日井市	130	87	0	0
	小牧市	58	50	0	0
監視延件数 (監視実施施設数)		111 (106)	17 (14)	0 (0)	0 (0)
市別	春日井市	79 (76)	12 (9)	0 (0)	0 (0)
	小牧市	32 (30)	5 (5)	0 (0)	0 (0)

(注) 監視延件数の下段(括弧内)は監視実施施設数。

表9 薬物相談窓口相談件数（令和4年度）

覚醒剤	麻薬(MDMA等)	大麻	向精神薬	有機溶剤	その他薬物
件	件	件	件	件	件
30	0	2	0	5	5

表10 薬物乱用防止街頭活動実施状況（令和4年度）

延実施回数	延協力者数	啓発資材配布個数
回	人	個
0	0	0

表11 不正大麻・けし除去状況(令和4年度)

延実施日数	延除去本数
1日	155本

(注) 自生または栽培された大麻・けしについて、保健所が単独あるいは合同で除去したものを対象とする。

(2) 感染症予防（結核を除く）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、患者等の人権に配慮しつつ感染症の予防及びまん延の防止を図っている。全国的に一類感染症は発生していない。

一類及び二類感染症（結核を除く）の発生はなく、新型インフルエンザ等感染症（令和3年2月13日から）とされた新型コロナウイルス感染症の発生が98,280件あった。三類感染症は管内では11件の発生があり、愛知県においても腸管出血性大腸菌感染症の発生は依然として多かった。

エイズの予防対策としては、パンフレット類の配布などによりエイズの正しい知識の普及に努めた。また、エイズの相談窓口を設けるとともに、HIV抗体検査を無料匿名で実施している。

表1 一・二類感染症患者等発生状況（令和4年度）

	総数
総数	0
春日井市	0
小牧市	0
愛知県	0

○計数には、保菌者も含む

表2 三類感染症患者等発生状況（令和4年度）

	総数	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
総数	11	11	0	0
春日井市	5	5	0	0
小牧市	6	6	0	0
愛知県	91	89	1	1

○計数には、保菌者も含む

○件数には、名古屋市及び中核市を含まない

○患者発生のない疾病は省略

表3-1 四類感染症患者等の届出状況

（令和4年度）

	総数	A型肝炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	マラリア
総数	11	1	0	0	1	0
愛知県	98	1	2	12	6	1
		レジオネラ症	レプトスピラ症	日本紅斑熱	類鼻疽	
総数		9	0	0	0	
愛知県		73	1	1	1	

○件数には、名古屋市及び中核市を含まない

○患者発生のない疾病は省略

表3-2 全数把握五類感染症患者等の届出状況

（令和4年度）

	総数	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎 (ウエストニール脳炎及び日本脳炎等を除く)	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症
総数	42	2	10	0	0	0	2	0	2
愛知県	497	18	77	1	19	6	22	10	10
		侵襲性肺炎球菌感染症	水痘	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	薬剤耐性アシネトバクター感染症
総数		3	0	14	0	2	0	7	0
愛知県		45	16	248	7	4	2	9	3

○件数には、名古屋市及び中核市を含まない

○患者発生のない疾病は省略

表4 新型インフルエンザ等感染症患者等の届出状況（令和4年度）

	総数	新型コロナウイルス感染症
総数	98,280	98,280
春日井市	66,429	66,429
小牧市	31,851	31,851
愛知県	822,054	822,054

○件数には、名古屋市及び中核市発表分を含まない

表5 インフルエンザ様疾患発生状況

（令和4年度）

	総数	休校休園	学年閉鎖	学級閉鎖
総数	33	0	1	32
春日井市	25	0	1	24
小牧市	8	0	0	8
愛知県	202	1	14	187

（注）愛知県は、名古屋市・中核市を除く数

表7 健康診断の勧告等による病原体検査実施状況(令和4年度)

	総数	腸管出血性大腸菌感染症
健康診断の勧告	10	10
消失確認	12	12
計	22	22

(注)検査実施のない疾病は削除した。

表8 エイズ・梅毒等及び肝炎についての相談件数

(令和4年度)

	相談件数
エイズ	34件
梅毒	11件
B型肝炎	23件
C型肝炎	21件

表9 エイズ・梅毒・肝炎の検査受付件数

(令和4年度)

	検査受付件数
エイズ	20件
梅毒	19件
B型肝炎(保健所)	11件
C型肝炎(保健所)	11件
B型肝炎(医療機関)	4件
C型肝炎(医療機関)	3件

(3) 予防接種

定期予防接種について、接種率の向上と予防接種による健康被害の発生防止に努めた。

表 予防接種実施状況(市町村業務)

(注)愛知県は、名古屋市・中核市を除く数

	ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ(DPT-IPV)											ジフテリア・破傷風			
	第1期初回第1回			第1期初回第2回			第1期初回第3回			第1期追加			第2期		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	3,120	3,041	97.5	3,269	3,052	93.4	3,269	3,017	92.3	3,302	2,969	89.9	4,426	3,286	74.2
春日井市	2,165	2,118	97.8	2,165	2,136	98.7	2,165	2,117	97.8	2,165	2,084	96.3	2,935	2,273	77.4
小牧市	955	923	96.6	1,104	916	83.0	1,104	900	81.5	1,137	885	77.8	1,491	1,013	67.9
愛知県	25,900	25,251	98.5	26,156	25,573	97.8	26,292	25,657	97.6	28,373	25,433	89.6	36,520	28,037	76.8

	ポリオ			
	第1期初回第1回	第1期初回第2回	第1期初回第3回	第1期追加
	被接種者数	被接種者数	被接種者数	被接種者数
総数	0	0	0	4
春日井市	0	0	0	2
小牧市	0	0	0	2
愛知県	6	6	4	25

	麻しん					
	第1期			第2期		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	3,314	3,116	94.0	3,924	3,504	89.3
春日井市	2,318	2,161	93.2	2,723	2,421	88.9
小牧市	996	955	95.9	1,201	1,083	90.2
愛知県	27,370	26,354	96.3	32,466	30,051	92.6

	風しん								
	第1期			第2期			第5期		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	3,314	3,116	94.0	3,924	3,504	89.3	/	321	/
春日井市	2,318	2,161	93.2	2,723	2,421	88.9	/	203	/
小牧市	996	955	95.9	1,201	1,083	90.2	/	118	/
愛知県	27,370	26,354	96.3	32,466	30,051	92.6	/	3,453	/

	日本脳炎											
	第1期初回第1回			第1期初回第2回			第1期追加			第2期		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	3,638	3,589	98.7	3,682	3,442	93.5	4,482	5,031	112.2	5,213	5,493	105.4
春日井市	2,431	2,534	104.2	2,431	2,435	100.2	2,541	3,650	143.6	2,856	3,704	129.7
小牧市	1,207	1,055	87.4	1,251	1,007	80.5	1,941	1,381	71.1	2,357	1,789	75.9
愛知県	32,150	31,238	97.2	32,189	30,207	93.8	37,730	39,704	105.2	45,268	44,215	97.7

	Hib感染症											
	第1回			第2回			第3回			第4回		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)									
総数	3,116	3,039	97.5	3,196	3,045	95.3	3,196	3,032	94.9	3,199	3,082	96.3
春日井市	2,165	2,100	97.0	2,165	2,119	97.9	2,165	2,115	97.7	2,165	2,125	98.2
小牧市	951	939	98.7	1,031	926	89.8	1,031	917	88.9	1,034	957	92.6
愛知県	25,752	25,485	99.0	25,923	25,436	98.1	26,036	25,369	97.4	27,523	26,019	94.5

	小児の肺炎球菌感染症											
	第1回			第2回			第3回			第4回		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	3,116	3,043	97.7	3,196	3,047	95.3	3,196	3,033	94.9	3,187	3,079	96.6
春日井市	2,165	2,101	97.0	2,165	2,121	98.0	2,165	2,117	97.8	2,165	2,129	98.3
小牧市	951	942	99.1	1,031	926	89.8	1,031	916	88.8	1,022	950	93.0
愛知県	25,731	25,457	98.9	25,923	25,459	98.2	26,061	25,369	97.4	27,467	26,086	95.0

	ヒトパピローマウイルス感染症								
	第1回			第2回			第3回		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	12,311	1,216	9.9	12,311	1,026	8.3	12,311	618	5.0
春日井市	8,700	456	5.2	8,700	442	5.1	8,700	348	4.0
小牧市	3,611	760	21.0	3,611	584	16.2	3,611	270	7.5
愛知県	78,487	8,462	10.8	78,637	7,746	9.9	78,893	5,773	7.3

※1 キャッチアップ接種を除く

※2 対象者数は、12歳となる日の属する年度の初日から16歳となる日の属する年度の末日までの間にあたる女子のうち、各市町村で接種券を出した数

	水痘					
	第1回			第2回		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	3,347	3,136	93.7	3,377	2,843	84.2
春日井市	2,318	2,163	93.3	2,318	1,988	85.8
小牧市	1,029	973	94.6	1,059	855	80.7
愛知県	27,605	26,416	95.7	28,010	24,080	86.0

	結核(BCG)					
	対象者数	被接種者数(個別)	個別のうち広域分(再掲)	被接種者数(集団)	被接種者数(計)	接種率(%)
総数	3,055	3,099	118	1	3,100	101.5
春日井市	2,114	2,128	31	0	2,128	100.7
小牧市	941	971	87	1	972	103.3
愛知県	26,046	24,323	1,440	1,596	25,919	99.5

	B型肝炎								
	第1回			第2回			第3回		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
総数	3,065	3,032	98.9	3,065	3,042	99.2	3,065	2,986	97.4
春日井市	2,114	2,094	99.1	2,114	2,118	100.2	2,114	2,039	96.5
小牧市	951	938	98.6	951	924	97.2	951	947	99.6
愛知県	25,676	25,254	98.4	25,785	25,408	98.5	26,287	25,298	96.2

	高齢者の肺炎球菌感染症(1)											
	60歳以上65歳未満の者			65歳相当			70歳相当			75歳相当		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	112	1	0.9	4,322	1,860	43.0	4,015	314	7.8	5,073	359	7.1
春日井市	112	1	0.9	2,855	977	34.2	3,528	307	8.7	4,405	355	8.1
小牧市	0	0	-	1,467	883	60.2	487	7	1.4	668	4	0.6
愛知県	6,070	40	0.7	35,705	14,155	39.6	22,524	2,905	12.9	27,479	3,213	11.7

	高齢者の肺炎球菌感染症(2)											
	80歳相当			85歳相当			90歳相当			95歳相当		
	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)	対象者数	被接種者数	接種率(%)
総数	4,145	228	5.5	2,420	120	5.0	1,082	65	6.0	362	23	6.4
春日井市	3,596	222	6.2	2,072	116	5.6	948	65	6.9	320	22	6.9
小牧市	549	6	1.1	348	4	1.1	134	0	0.0	42	1	2.4
愛知県	20,246	1,963	9.7	13,034	1,264	9.7	7,183	779	10.8	2,662	280	10.5

	高齢者の肺炎球菌感染症(3)			インフルエンザ		
	100歳相当			対象者数	被接種者数	接種率(%)
	対象者数	被接種者数	接種率(%)			
総数	62	2	3.2	118,548	71,239	60.1
春日井市	53	2	3.8	80,498	47,763	59.3
小牧市	9	0	0.0	38,050	23,476	61.7
愛知県	564	55	9.8	933,579	596,258	63.9

	ロタウイルス感染症														
	1価(第1回)			1価(第2回)			5価(第1回)			5価(第2回)			5価(第3回)		
	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率	対象者数	被接種者数	接種率
総数	2,585	2,014	77.9	2,585	1,974	76.4	2,585	976	37.8	2,585	1,012	39.1	2,585	1,010	39.1
春日井市	2,114	1,514	71.6	2,114	1,484	70.2	2,114	550	26.0	2,114	593	28.1	2,114	595	28.1
小牧市	471	500	106.2	471	490	104.0	471	426	90.4	471	419	89.0	471	415	88.1
愛知県	23,543	16,487	70.0	23,560	16,519	70.1	21,928	8,440	38.5	21,957	8,429	38.4	21,041	8,308	39.5

(4) 生活環境の衛生指導

営業施設について、施設の清潔保持・設備の維持管理・器具の消毒実施状況の確認に重点を置いた監視指導を実施した。

表1 営業施設の状況及び監視指導状況

(令和4年度)

	総数	興行場	旅館	公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング所		クリーニング 無店舗取 次店	
							取次所 (再掲)			
総数	1,213	6	35	22	287	659	191	144	13	
春日井市	845	3	17	12	203	470	127	89	13	
小牧市	368	3	18	10	84	189	64	55	0	
許可・確認等件数	42	0	0	0	4	35	3	2	0	
廃止件数	127	0	0	1	26	96	4	1	0	
監視・指導延件数 (監視・指導実施施設数)	561 (561)	0 (0)	30 (30)	24 (24)	118 (118)	340 (340)	49 (49)	1 (1)	0 (0)	
春日井市	404 (404)	0 (0)	13 (13)	14 (14)	83 (83)	256 (256)	38 (38)	0 (0)	0 (0)	
小牧市	157 (157)	0 (0)	17 (17)	10 (10)	35 (35)	84 (84)	11 (11)	1 (1)	0 (0)	
内訳	監視延件数 (監視実施施設数)	26 (26)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	7 (7)	16 (16)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
	春日井市	22 (22)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	5 (5)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	小牧市	4 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)
	指導延件数 (指導実施施設数)	535 (535)	0 (0)	30 (30)	22 (22)	111 (111)	324 (324)	48 (48)	0 (0)	0 (0)
	春日井市	382 (382)	0 (0)	13 (13)	13 (13)	78 (78)	240 (240)	38 (38)	0 (0)	0 (0)
	小牧市	153 (153)	0 (0)	17 (17)	9 (9)	33 (33)	84 (84)	10 (10)	0 (0)	0 (0)

(注1) 許可・確認等件数及び廃止件数並びに監視・指導延件数、監視延件数及び指導延件数並びに監視・指導実施施設数、監視実施施設数及び指導実施施設数は、令和4年度。

(注2) 監視・指導延件数、監視延件数及び指導延件数並びに監視・指導実施施設数、監視実施施設数及び指導実施施設数は、自保健所管内の件数及び施設数と広域機動班による件数及び施設数(広域機動班設置保健所にあるものは、自保健所管内の広域機動班による件数及び施設数)を合算したもの。

(注3) 監視延件数には、施設等へ立入調査した延件数を、指導延件数には、それ以外の延件数(自主管理点検表や衛生講習会等を活用した指導延件数)を上欄に計上。

(注4) 監視実施施設数には、施設等へ立入調査した監視実施施設数を、指導実施施設数には、それ以外の指導実施施設数(自主管理点検表や衛生講習会等を活用した指導実施施設数)を下欄( )内に計上。

(注5) 監視及び指導の両方を行った施設の実施件数については、監視実施施設数に計上。

表2 特定建築物

(令和4年度)

	総数	興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他の特定建築物
総数	114	3	0	43	44	8	7	9
春日井市	62	1	0	28	20	4	1	8
小牧市	52	2	0	15	24	4	6	1
監視指導延件数 (監視・指導実施設数)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
春日井市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
小牧市	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
内訳	監視延件数 (監視実施設数)	0 (0)						
	春日井市	0 (0)						
	小牧市	0 (0)						
	指導延件数 (指導実施設数)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	春日井市	0 (0)						
	小牧市	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(注1)監視・指導延件数、監視延件数及び指導延件数並びに監視・指導実施設数、監視実施設数及び指導実施設数は、令和4年度。

(注2)監視・指導延件数、監視延件数及び指導延件数並びに監視・指導実施設数、監視実施設数及び指導実施設数は、自保健所管内の件数及び施設数と広域機動班による件数及び施設数(広域機動班設置保健所にあつては、自保健所管内の広域機動班による件数及び施設数)を合算したものの。

(注3)監視延件数には、施設等へ立入調査した延件数を、指導延件数には、それ以外の延件数(衛生管理講習会等を活用した指導延件数)を上欄に計上。

(注4)監視実施設数には、施設等へ立入調査した監視施設数を、指導実施設数には、それ以外の指導施設数(衛生講習会等を活用した指導施設数)を下欄( )内に計上。

(注5)監視及び指導の両方を行った施設の実施件数については、監視実施設数に計上。

表3 住宅宿泊施設の状況(令和4年度末)

	施設数
総数	8
春日井市	8
小牧市	0

(住宅宿泊事業法により権限移譲された市を除く。)

(5) 水道

水道は、春日井市及び小牧市の2上水道(厚生労働大臣認可)があり、水道普及率は99.9%である。

また、専用水道、簡易専用水道等の事務等については、平成25年4月1日から水道法等により春日井市及び小牧市に権限移譲された。

(6) プール

表 プール設置状況

(令和4年度末)

	総数	学校	営業用	その他
総数	115 (19)	94 (2)	19 (17)	2 (0)
春日井市	77 (11)	65 (2)	10 (9)	2 (0)
小牧市	38 (8)	29 (0)	9 (8)	0 (0)
届出件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
廃止件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
監視延件数	3 (2)	1 (0)	2 (2)	0 (0)
春日井市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
小牧市	3 (2)	1 (0)	2 (2)	0 (0)
指導延件数	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
春日井市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
小牧市	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

(注)届出、廃止及び監視延件数は、令和4年度。また、( )内は通年開設プールの施設数(再掲)。

(7) 生活環境安全広域機動班による監視指導

表 生活環境安全広域機動班活動状況

(令和4年度)

	対象施設数	監視指導延件数 (監視・指導実施施設数)	内訳	
			監視延件数 (監視実施施設数)	指導延件数 (指導実施施設数)
春日井保健所管内	371	142 (142)	36 (36)	106 (106)
瀬戸保健所管内	340	0 (0)	0 (0)	0 (0)
江南保健所管内	194	4 (4)	4 (4)	0 (0)

(注1)自保健所管内分を含めた広域機動班による施設数及び件数を記載すること。

(注2)監視・指導延件数、監視延件数及び指導延件数並びに監視・指導実施施設数、監視実施施設数及び指導実施施設数は、令和4年度。

(注3)監視延件数には、施設等へ立入調査した延件数を、指導延件数には、それ以外の延件数(自主管理点検表や衛生講習会等を活用した指導延件数)を上欄に計上。

(注4)監視実施施設数には、施設等へ立入調査した監視施設数を、指導実施施設数には、それ以外の指導施設数(自主管理点検表や衛生講習会等を活用した指導施設数)を下欄( )内に計上。

(注5)監視及び指導の両方を行った施設の実施件数については、監視実施施設数に計上。

## 4 食 品 安 全 課 の 事 業

## 4 食品安全課の事業

### (1) 食品安全

食品衛生法に規定する営業許可を要する業種について、許可申請に基づき実地調査を行い、施設基準に適合していることを確認した施設に対して、有効期限やその他の必要な条件を付して許可を行った。

また、既営業許可施設並びに加工食品及び野菜・果物等の食品販売業施設に対しては、飲食に起因する危害を未然に防止し、営業施設の衛生水準の維持及び向上を図るために監視指導を行った。

さらに、仕出し屋、弁当屋、給食等に分類される飲食店営業をはじめ、菓子、食肉製品、そうざい等の製造業や、学校等の集団給食施設に対して飲食に起因する危害を防止するため、食品安全広域機動班による専門的な監視指導を行った。(表 1・2)

なお、食品製造施設や流通拠点から食品・添加物等を収去し、その成分規格、添加物の使用基準及び農薬の残留基準等の検査を実施した結果、違反は確認されなかった。(表 3)

食品関係施設に対する行政処分は、食中毒に伴う営業の禁止を 1 件行った。(表 4)  
また、食中毒事件は 2 件あった。(表 5)

食品安全広域機動班は、当所並びに瀬戸及び江南保健所管内において、危害発生を防止するために特に管理が必要な重要管理施設(集団給食施設・広域流通食品を製造する施設等)を対象に、危害分析重要管理点(HACCP)方式の概念に基づき危害分析を行い、その施設に応じた効果的な監視指導を行うとともに、現場検査を積極的に実施し、科学的な監視指導及び収去検査を実施した。(表 6)

### (2) 食鳥処理の事業の規制

「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」の規定に基づき、食鳥処理場に立ち入り、設備・帳簿・書類その他の物件の検査等を行った。また、食鳥処理場から食鳥肉の収去を行い、食中毒菌の汚染実態調査を行った。(表 7)

### (3) 化製場等の指導

「化製場等に関する法律」の規定に基づき、動物の飼養又は収容のための許可を必要とする区域内にある畜舎及び家きん舎の構造設備の公衆衛生上必要な基準の遵守状況及び法の規定による措置の実施状況について検査を行った。

また、「動物処理場等に関する条例」に規定する動物処理場についても、条例に規定する措置状況について立ち入りして検査を行った。(表 8)

表1-1 旧食品衛生法に基づく許可を要する食品関係施設数及び監視指導状況

(令和4年度)

	施設数				廃業 施設数 (年度中)	監視・指導延 件数 (市町別件数 は別掲)	広域機動班が 実施した監視・ 指導延件数 (市町別件数 は別掲)
	総数	春日井市	小牧市	その他			
総数	4,132	2,375	1,555	202	1,018	2,164	89
飲食店営業	2,373	1,437	774	162	670	1,068	26
喫茶店営業	676	329	346	1	62	25	0
菓子製造業	398	220	142	36	102	293	17
あん類製造業	3	1	2	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	40	29	10	1	13	56	0
乳処理業	0	0	0	0	0	0	0
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0	0	0	0
乳製品製造業	3	1	2	0	1	1	5
集乳業	0	0	0	0	0	0	0
乳類販売業	0	0	0	0	0	0	0
食肉処理業	20	7	13	0	7	7	3
食肉販売業	276	158	117	1	62	366	4
食肉製品製造業	1	0	1	0	1	1	1
魚介類販売業	245	148	96	1	70	317	3
魚介類せり売営業	0	0	0	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	35	11	24	0	6	5	6
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	1	0	1	0	1	1	2
乳酸菌飲料製造業	2	0	2	0	0	1	2
氷雪製造業	0	0	0	0	1	1	0
氷雪販売業	0	0	0	0	0	0	0
食用油脂製造業	2	1	1	0	0	0	1
マーガリン又はショートニング製造業	0	0	0	0	0	0	0
みそ製造業	0	0	0	0	0	0	0
醤油製造業	0	0	0	0	0	0	0
ソース類製造業	1	1	0	0	0	0	0
酒類製造業	3	1	2	0	1	1	2
豆腐製造業	8	6	2	0	2	3	1
納豆製造業	0	0	0	0	0	0	0
めん類製造業	11	6	5	0	1	3	1
そうざい製造業	26	16	10	0	14	12	9
缶詰又は瓶詰	1	0	1	0	1	1	2
食品製造業添加物製造業	7	3	4	0	3	2	4

(注1) 旧食品衛生法は、食品衛生法等の一部を改正する法律(平成30年法律第46号)による改正前の食品衛生法。

(注2) 施設数は、令和4年度末。

表1-2 旧食品衛生法に基づく許可を要する食品関係施設の市町別監視指導状況 (令和4年度)

	監視・指導延件数		広域機動班が実施した 監視・指導延件数	
	春日井市	小牧市	春日井市	小牧市
総 数	1,148	1,016	33	56
飲食店営業	575	493	14	12
喫茶店営業	21	4	0	0
菓子製造業	178	115	5	12
あん類製造業	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業	20	36	0	0
乳処理業	0	0	0	0
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0
乳製品製造業	0	1	0	5
集乳業	0	0	0	0
乳類販売業	0	0	0	0
食肉処理業	1	6	2	1
食肉販売業	164	202	2	2
食肉製品製造業	0	1	0	1
魚介類販売業	175	142	1	2
魚介類せり売営業	0	0	0	0
魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業	2	3	2	4
食品の放射線照射業	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	0	1	0	2
乳酸菌飲料製造業	0	1	0	2
冰雪製造業	0	1	0	0
冰雪販売業	0	0	0	0
食用油脂製造業	0	0	1	0
マーガリン又はショートニング製造業	0	0	0	0
みそ製造業	0	0	0	0
醤油製造業	0	0	0	0
ソース類製造業	0	0	0	0
酒類製造業	0	1	0	2
豆腐製造業	3	0	1	0
納豆製造業	0	0	0	0
めん類製造業	2	1	0	1
そうざい製造業	6	6	4	5
缶詰又は瓶詰食品製造業	0	1	0	2
添加物製造業	1	1	1	3

(注) 旧食品衛生法は、食品衛生法等の一部を改正する法律(平成30年法律第46号)による改正前の食品衛生法。

表1-3 食品衛生法に基づく許可を要する食品関係施設数及び監視指導状況 (令和4年度)

	施設数				営業許可施設数 (年度中)		廃業 施設数 (年度中)	監視・指 導延件数 (市町別 件数は別 掲)	広域機動 班が実施 した監視・ 指導延件 数 (市町別件 数は別掲)
	総数	春日井市	小牧市	その他	新規	継続			
総 数	1,709	1,023	507	179	1,053	0	91	521	47
飲食店営業	1,367	818	370	179	854	0	84	373	21
調理の機能を有する自動販売機により食品を調理し、調理された食品を販売する営業	23	6	17	0	11	0	0	0	0
食肉販売業	32	20	12	0	16	0	1	23	4
魚介類販売業	40	25	15	0	21	0	0	31	2
魚介類競り売り営業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集乳業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食肉処理業	10	3	7	0	7	0	0	0	1
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菓子製造業	165	109	56	0	93	0	5	82	3
アイスクリーム類製造業	1	1	0	0	0	0	0	0	2
乳製品製造業	1	0	1	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	3	0	3	0	3	0	1	0	1
食肉製品製造業	1	0	1	0	1	0	0	0	0
水産製品製造業	1	0	1	0	1	0	0	0	1
冰雪製造業	1	0	1	0	1	0	0	0	1
液卵製造業	1	0	1	0	0	0	0	1	2
食用油脂製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
みそ又はしょうゆ製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酒類製造業	2	1	1	0	2	0	0	0	0
豆腐製造業	4	3	1	0	3	0	0	0	0
納豆製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麺類製造業	5	3	2	0	4	0	0	1	2
そうざい製造業	37	27	10	0	25	0	0	4	6
複合型そうざい製造業	1	0	1	0	1	0	0	0	0
冷凍食品製造業	2	2	0	0	2	0	0	1	1
複合型冷凍食品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
漬物製造業	1	0	1	0	1	0	0	0	0
密封包装食品製造業	1	0	1	0	1	0	0	0	0
食品の小分け業	7	3	4	0	3	0	0	3	0
添加物製造業	3	2	1	0	3	0	0	2	0

(注) 施設数は、令和4年度末。

表1-4 食品衛生法に基づく許可を要する食品関係施設の市町村別監視指導状況 (令和4年度)

	監視・指導延件数		広域機動班が実施した 監視・指導延件数	
	春日井市	小牧市	春日井市	小牧市
総 数	478	43	27	20
飲食店営業	341	32	11	10
調理の機能を有する自動販売機により食品を調理し、調理された食品を販売する営業	0	0	0	0
食肉販売業	21	2	4	0
魚介類販売業	29	2	2	0
魚介類競り売り営業	0	0	0	0
集乳業	0	0	0	0
乳処理業	0	0	0	0
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0
食肉処理業	0	0	1	0
食品の放射線照射業	0	0	0	0
菓子製造業	78	4	1	2
アイスクリーム類製造業	0	0	2	0
乳製品製造業	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	0	0	0	1
食肉製品製造業	0	0	0	0
水産製品製造業	0	0	0	1
氷雪製造業	0	0	1	0
液卵製造業	0	1	1	1
食用油脂製造業	0	0	0	0
みそ又はしょうゆ製造業	0	0	0	0
酒類製造業	0	0	0	0
豆腐製造業	0	0	0	0
納豆製造業	0	0	0	0
麺類製造業	1	0	1	1
そうざい製造業	3	1	3	3
複合型そうざい製造業	0	0	0	0
冷凍食品製造業	1	0	0	1
複合型冷凍食品製造業	0	0	0	0
漬物製造業	0	0	0	0
密封包装食品製造業	0	0	0	0
食品の小分け業	2	1	0	0
添加物製造業	2	0	0	0

表2-1 食品衛生法に基づく届出を要する食品関係施設数及び監視指導状況

(令和4年度)

	施設数				監視・指導 延件数(市 町村別件数 は別掲)	広域機動班が実施 した監視・指導延 件数(市町村別件 数は別掲)	
	総 数	春日井市	小牧市	その他			
総 数	1,925	1,025	898	2	442	31	
魚介類販売業(包装済みの魚介類のみの販売)	28	11	17	0	2	0	
食肉販売業(包装済みの食肉のみの販売)	47	19	28	0	3	0	
乳類販売業	594	333	259	2	240	0	
氷雪販売業	7	2	5	0	1	0	
コップ式自動販売機(自動洗浄・屋内設置)	259	138	121	0	9	0	
弁当販売業	6	4	2	0	0	0	
野菜果物販売業	31	17	14	0	1	0	
米穀類販売業	16	7	9	0	1	1	
通信販売・訪問販売による販売業	5	2	3	0	1	0	
コンビニエンスストア	30	14	16	0	4	0	
百貨店、総合スーパー	56	32	24	0	82	6	
自動販売機による販売業(コップ式自動販売機(自動洗浄・屋内設置)を除く。)	149	86	63	0	0	0	
その他の食料・飲料販売業	486	247	239	0	94	5	
添加物製造・加工業(法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。)	1	0	1	0	1	2	
いわゆる健康食品の製造・加工業	4	0	4	0	0	1	
コーヒー製造・加工業(飲料の製造を除く。)	10	7	3	0	1	0	
農産保存食料品製造・加工業	7	5	2	0	0	0	
調味料製造・加工業	3	2	1	0	0	0	
糖類製造・加工業	1	0	1	0	0	0	
精穀・製粉業	2	1	1	0	0	0	
製茶業	1	1	0	0	0	0	
海藻製造・加工業	0	0	0	0	0	0	
卵選別包装業	2	1	1	0	0	1	
その他の食料品製造・加工業	29	14	15	0	2	4	
行商	0	0	0	0	0	0	
集団給食施設	学校	1	1	0	0	0	
	病院・診療所	3	1	2	0	0	
	事業所	2	2	0	0	0	
	その他	1	1	0	0	0	
	保育園	71	47	24	0	0	11
	福祉施設	8	6	2	0	0	0
小計	86	58	28	0	0	11	
器具、容器包装の製造・加工業(合成樹脂が使用された器具又は(合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。)	47	18	29	0	0	0	
露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	2	2	0	0	0	0	
その他	16	4	12	0	0	0	

(注) 施設数は、令和4年度末。

表2-2 食品衛生法に基づく届出を要する食品関係施設の市町村別監視指導状況

(令和4年度)

	監視・指導延件数		広域機動班が実施した 監視・指導延件数	
	春日井市	小牧市	春日井市	小牧市
総 数	241	201	14	17
魚介類販売業（包装済みの魚介類のみの販売）	0	2	0	0
食肉販売業（包装済みの食肉のみの販売）	0	3	0	0
乳類販売業	119	121	0	0
氷雪販売業	0	1	0	0
コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	1	8	0	0
弁当販売業	0	0	0	0
野菜果物販売業	0	1	0	0
米穀類販売業	0	1	1	0
通信販売・訪問販売による販売業	0	1	0	0
コンビニエンスストア	0	4	0	0
百貨店、総合スーパー	32	50	3	3
自動販売機による販売業（コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く。）	0	0	0	0
その他の食料・飲料販売業	87	7	4	1
添加物製造・加工業（法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。）	0	1	2	0
いわゆる健康食品の製造・加工業	0	0	0	1
コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	1	0	0	0
農産保存食料品製造・加工業	0	0	0	0
調味料製造・加工業	0	0	0	0
糖類製造・加工業	0	0	0	0
精穀・製粉業	0	0	0	0
製茶業	0	0	0	0
海藻製造・加工業	0	0	0	0
卵選別包装業	0	0	0	1
その他の食料品製造・加工業	1	1	3	1
行商	0	0	0	0
集 団 給 食 施 設	学校	0	0	0
	病院・診療所	0	0	0
	事業所	0	0	0
	その他	0	0	0
	保育園	0	0	1
	福祉施設	0	0	0
	小計	0	0	1
器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。）	0	0	0	0
露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	0	0	0	0
その他	0	0	0	0

表3 食品等の収去検査状況

(令和4年度)

		* 収去検体数	違反検体数	違反項目数			備考
				微生物	理化学	その他	
令和3年度		182	1	1	0	0	
令和4年度		182	0	0	0	0	
令和4年度	総数	182	0	0	0	0	
	魚介類	5	0	0	0	0	
	魚介類加工品	8	0	0	0	0	
	肉卵類及びその加工品	22	0	0	0	0	
	乳・加工乳	11	0	0	0	0	
	乳製品	16	0	0	0	0	
	乳類加工品	1	0	0	0	0	
	アイスクリーム類・氷菓	11	0	0	0	0	
	冷凍食品	1	0	0	0	0	
	穀類及びその加工品	13	0	0	0	0	
	野菜類・果物及びその加工品	23	0	0	0	0	
	菓子類	7	0	0	0	0	
	清涼飲料水	7	0	0	0	0	
	酒類飲料	1	0	0	0	0	
	氷雪	0	0	0	0	0	
	水	0	0	0	0	0	
	かん詰・びん詰食品	1	0	0	0	0	
	その他の食品	42	0	0	0	0	
	添加物及びその製剤	3	0	0	0	0	
器具及び容器包装	10	0	0	0	0		
おもちや	0	0	0	0	0		

\* 広域機動班設置保健所であるため、瀬戸及び江南保健所管内分も含めた検体数。

表4 行政処分状況

(令和4年度)

	許可の取消	営業の 禁停止	施設の 改善命令	物品の廃棄・ 回収命令	その他	告発
総 数	0	1	0	0	0	0
許 可 営 業	0	1	0	0	0	0
非 許 可 営 業		0	0	0	0	0

表5 食中毒発生状況

(令和4年度)

発生年月日	原因施設	摂食者	患者(死者再掲)	原因食品	病因物質	発生要因
令和4年5月30日	弁当工場	748名	267名(0名)	弁当	ウエルシュ菌	取扱い不備
令和4年9月7日	スーパー	2名	1名(0名)	マグロ ヒラメ	アニサキス	検品不足

表6 食品安全広域機動班監視活動状況

(令和4年度)

	監視延件数	改善指導件数	現場検査件数	収去件数
春日井保健所管内	179	0	26	84
瀬戸保健所管内	81	0	25	40
江南保健所管内	116	0	23	58

## 食鳥処理の事業の規制

表7 食鳥処理施設及び立入検査等状況

(令和4年度)

	食鳥処理業者 (認定小規模食 鳥処理業者を 除く)	認定小規模食鳥処理業者 (処理羽数が年度間30万羽以下)		届出食肉 販売業者	計
		生体処理を行う施設	生体処理を行わない施設		
施 設 数	0	1	1	1	3
立入検査件数	0	0	0	0	0
収去件数*	0	0	0	0	0

(注) 施設数は、令和4年度末。

\* 広域機動班設置保健所であるため、瀬戸及び江南保健所管内分も含めた検体数。

## 化製場等の指導

表8 化製場等の施設数及び監視指導状況

(令和4年度)

	化製場	死亡獣畜 取扱場	死亡獣畜取 扱場外処理	法8条の 準用施設	畜舎	家きん舎	動物処理場	計
施 設 数					29	2	9	40
監視指導件数					0	0	0	0

(注) 施設数は、令和4年度末。

## 5 健康支援課の事業

## 5 健康支援課の事業

### (1) 結核予防

感染症法に基づく定期及び接触者健康診断及び予防接種により、発病予防・患者の早期発見・早期治療・医療費公費負担申請の指導に努めた。特に結核患者には家族内感染の防止に重点を置いた。

表1 結核患者及び死亡の状況

	人口	結核死亡者数		全登録者数			新登録患者数			
		実数	死亡率	実数	活動性結核患者数	有病率	実数	り患率	喀痰塗抹陽性患者数	喀痰塗抹陽性り患率
令和2年	457,512	8	1.7	104	26	5.7	47	10.3	21	4.6
令和3年	455,416	7	1.5	118	43	9.4	61	13.4	23	5.1
令和4年	453,948	3	0.7	93	32	7.0	41	9.0	15	3.3
春日井市	306,774	1	0.3	69	23	7.5	29	9.5	10	3.3
小牧市	147,174	2	1.4	24	9	6.1	12	8.2	5	3.4
全国(R3年)	122,780,487	1,845	1.5	27,754	7,744	6.2	11,519	9.2	4,127	3.3
県計(R4年)	5,171,743	67	1.3	956	278	5.4	441	8.5	142	2.7

(注1) 率は人口10万対

(注2) 県計は名古屋市を除く。

(注3) 新登録患者数の菌陽性り患率は、喀痰塗抹陽性肺結核患者のり患率とした。

(注4) 菌陽性は喀痰塗抹陽性肺結核患者数

(注5) 「県計(R4年)」の人口は、名古屋市を含まない(外国人を含む)推計人口。

名古屋市を含まない総人口(外国人を含む)。

「全国(R3年)」の人口は、総務省統計局による推計した日本人人口。

表2 新登録患者数

(令和4年)

	総数	活動性結核							(別掲) 潜在性 結核感染症	
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性		
			喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他			
			総数	初回治療	再治療					
総数	41	33	15	15	0	14	4	8	26	
年齢別	0~4	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	5~9	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	15~19	1	1	0	0	0	1	0	0	1
	20~29	2	1	0	0	0	0	1	1	2
	30~39	7	7	3	3	0	3	1	0	0
	40~49	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	50~59	1	1	0	0	0	0	1	0	4
	60~69	4	3	2	2	0	1	0	1	2
	70~79	14	10	6	6	0	4	0	4	4
80~89	6	5	2	2	0	2	1	1	2	
90~	6	5	2	2	0	3	0	1	0	

表3 全登録者数

(令和4年末)

	総数	活動性結核								不活動性結核	活動性不明	(別掲)潜在性結核感染症	
		総数	肺結核活動性					肺外結核活動性	治療中			観察中	
			総数	登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性						登録時菌陰性・その他
				総数	初回治療	再治療							
総数	93	32	26	12	12	0	11	3	6	60	1	19	9
入院	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	(2) 2	0	0	0	0	0	0	0	0
他疾患入院	5	5	5	3	3	0	2	0	0	0	0	1	0
外来治療	24	24	18	7	7	0	8	3	6	0	0	18	0
治療なし	62	1	1	0	0	0	1	0	0	60	1	0	9
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) ( )は入院勧告患者数の再掲

表4 定期健康診断

(令和4年度)

区分	対象施設数(A)	対象者数(B)	報告書の提出		受診者数(D)	受診率(%) (D)/(B)	胸部エックス線実施者数	喀痰検査者数	検査結果					
			提出施設数(C)	提出率(%) (C)/(A)					結核患者数(E)	発見率(%) (E)/(D)	潜在性結核患者(F)	結核発病の恐れがある者(G)	発見率(%) (F+G)/(D)	
事業者	712	14,126	321	45.1	13,334	94.4	13,333	10	0	0.0	0	0	0.0	
学校長	20	6,606	19	95.0	6,543	99.0	6,543	0	0	0.0	0	0	0.0	
内訳	高等学校	12	3,315	12	100.0	3,304	99.7	3,304	0	0	0.0	0	0	0.0
	大学(短大)	2	3,025	2	100.0	2,981	98.5	2,981	0	0	0.0	0	0	0.0
	その他	6	266	5	83.3	258	97.0	258	0	0	0.0	0	0	0.0
施設長	60	919	21	35.0	859	93.5	859	0	0	0.0	0	0	0.0	
市長	65歳以上	2	118,377	2	100.0	31,943	27.0	31,943	5	1	0.0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	

「報告書の提出状況」…感染症法第53条の7の規定に基づく通報又は報告の状況

「事業者」欄の「対象施設数」「対象者数」…感染症法施行令第11条及び第12条第1項第1号による事業者数及び従業者数

「学校長」の内訳「その他」…感染症法施行令第12条第1項第2号の規定(高等専門学校、専修学校、専門学校、養護学校等)に該当する対象者

「施設長」…感染症法施行令第11条及び第12条第1項第3号から第4号に該当する施設

「市長」の「対象施設数」「提出施設数」欄…市数

表5 接触者健康診断

(令和4年度)

区 分	対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率(%) (B)/(A)	検査件数						被発見者数					
				ツベルクリン 反応検査		胸部 エックス 線実施者 数	喀痰 検査者 数	IGRA検査		結核者 (C)	発見 率(%) (C)/(B)	潜在 性結 核感 染者 (D)	発病の 恐れが ある者 (F)	発見 率(%) (D+F)/(B)	
				被判 定者	陰性 者			被判 定者	陰性 者						
接触者健診	149	149	100	5	2	60	4	128	107	0	0.0	15	18	14.2	
内 訳	患者家族	68	68	100	5	2	43	2	54	42	0	0.0	9	6	19.5
	その他	81	81	100	0	0	17	2	74	65	0	0.0	6	12	11.2

表6 管理検診実施状況

(令和4年)

区分	対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) %	判定基準						要医療率 (C) — (B)
				計	要医療 (C)	要観察		観察不要 (除外者)	判定 保留	
						治療終了 後2年未満 の者	治療終了 後2年以上 の者			
管理検診	113	26	23.0%	26	0	17	0	9	0	0.0

## (2) 生活習慣病予防

悪性新生物、脳血管疾患、心疾患等のいわゆる生活習慣病は、死亡順位の上位を占めて、主として壮年層に多く、社会的損失となっている。

表1 食育推進協力店登録状況 (令和4年度)

	登録数	更新数
実件数	3件	28件

表2 表示等指導 (令和4年度)

		食育推進協力店		食品表示基準	
表示等指導	個別	延回数	延人員	回数	人員
				10	10
	集団	3	237	0	0

表3 地域喫煙対策推進事業健康教育実施状況 (令和4年度)

区分	延回数	延参加人員
未成年者や子ども	0回	0人
父母等	0回	0人
娯楽施設・飲食店等	0回	0人
女性	0回	0人
その他	0回	0人

(3) 母子保健

平成25年度から低体重児訪問等が市町村へ移譲された。

表1 低体重児出生数

(令和3年)

	出生児数	低体重児 出生数	率 %	500g 未満	500g～ 999g	1,000g～ 1,299g	1,300g～ 1,499g	1,500g～ 1,799g	1,800g～ 1,999g	2,000g～ 2,299g	2,300g～ 2,499g
令和元年	3,421	331	9.7	0	15	6	11	17	16	102	164
令和2年	3,294	342	10.4	1	13	8	1	15	24	91	189
総数	3,217	321	10.0	3	13	7	8	31	22	79	158
春日井市	2,319	240	10.3	3	12	7	6	23	17	57	115
小牧市	898	81	9.0	0	1	0	2	8	5	22	43
県計	36,797	3,538	9.6	17	101	82	81	259	244	927	1,827

(資料) 愛知県衛生年報

(注1) 県計は、名古屋市を除いた確定数である。

表2 療育指導

(令和4年度)

事業名	開催回数	参加者数 (延人員)
身体障害児等	—	—

表3 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

(令和4年度)

事業名	開催回数	参加者数 (延人員)
ピアカウンセリング事業	0回	0人
関係機関等連携会議	0回	0人
療育相談指導事業	訪問(延人員)	面接(延人員)
	14人	9人

表4 市町村母子保健推進会議等実施状況

(令和4年度)

事業名	開催月日	内容	参加人員 (延人員)
尾張北部医療圏 地域母子保健推進研修会	R4.10.31	講演「児童相談所について知ろう！～通報の流れと母子保健との情報共有～」 講師 一宮児童相談センター センター長 杉本一正氏	35人
母子保健推進会議	—	医療計画課からの通知「新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所の体制強化について」に基づき中止	—

表5 子育て世代包括支援センター充実強化事業実施状況 (令和4年度)

事業名	開催月日	内 容	参加人員 (実人員)
連携促進会議	—	医療計画課からの通知「新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所の体制強化について」に基づき中止	—
事例検討会	R4.10.28	事例検討「発達に支援が必要な第一子をもつ、未婚で第二子出産を控えた特定妊婦」	11人

(4) 栄養改善

疾病が多項目にわたる方、難病や食物アレルギー等の方に対し、専門的な栄養指導を実施した。また、食生活改善推進員のリーダーに対する再教育指導も実施した。

表1 栄養改善指導状況 (令和4年度)

			妊産婦		乳幼児		20歳未満		20歳以上		
			延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	延回数	延人員	
個別	再掲	栄養指導	0回	0人	1回	1人	0回	0人	2	2	
		病態別栄養指導	所内	0	0	0	0	0	0	2	2
			所外	0	0	0	0	0	0	0	0
		訪問指導	0	0	0	0	0	0	0	0	
集団	再掲	栄養指導	0	0	0	0	0	0	1	5	
		病態別栄養指導	所内	0	0	0	0	0	0	0	0
			所外	0	0	0	0	0	0	0	0
		推進員再教育	所内					0	0	0	0
			所外					0	0	0	0
		喫食者等指導	所内	0	0	0	0	0	0	0	0
			所外	0	0	0	0	0	0	0	0
		学生指導	所内	0	0	0	0	0	0	33	132
			所外	0	0	0	0	0	0	7	28
		市町村支援			0	0	0	0	0	0	2

表2 給食施設指導 (令和4年度)

	特定給食施設	その他の給食施設
施設数	148	59
個別指導	延 19	延 14
集団指導	延 0回	0施設

(5) 歯科保健

地域の歯科口腔保健対策の推進を図るため、関係機関と連携し、会議や研修会の開催、各種歯科保健データの収集・分析・還元を行っている。

表1 歯科健康診査・保健指導等実施状況

(令和4年度)

健診・保健指導延人員					訪問による健診・保健指導人員							
	妊産婦	乳幼児	その他	計		難病患者	小児慢性特定疾病児童	身体障害者(児)	知的障害者(児)	精神障害者	その他	計
個別	0	0	8	8	延人員	0	0	0	0	0	0	0
集団	0	0	0	0	実人員	0	0	0	0	0	0	0

表2 歯と口の健康づくり推進会議実施状況

(令和4年度)

開催年月	参加延人数	内容
令和5年1月19日	18名	1. 愛知県歯科口腔保健基本計画及び各市健康増進計画の推進について 2. 春日井保健所地域歯科保健課題対応事業について

表3 地域歯科保健活動支援事業実施状況

(令和4年度)

	乳幼児	学齢期	フッ化物洗口	歯周病対策	口腔ケア連携	医科歯科連携
回数	15	15	2	4	11	4

表4 地域歯科保健課題対応事業実施状況

(令和4年度)

	会議	研修	調査	啓発
開催(実施)回数	4	3	—	—
参加(実施)延人数	21	131	—	—

表5 歯科口腔保健推進研修実施状況

(令和4年度)

開催月日	参加延人員	内容	主な対象
—	—	—	—

(6) 難病対策事業

難病患者及びその家族に対して、家庭訪問や患者・家族教室により在宅療養支援を行った。

表1 訪問相談実施状況

(令和4年度)

疾患名		実人員	延人員
総数		23	48
2	筋萎縮性側索硬化症	10	27
5	進行性核状性麻痺	2	2
6	パーキンソン病	7	14
17	多系統萎縮症	1	1
18	脊髄小脳変性症	1	1
60	再生不良性貧血	1	2
113	筋ジストロフィー	1	1

表2 難病患者・家族教室実施状況

(令和4年度)

疾患区分	開催回数	受講実人員			受講延人員		
		総数	患者	家族	総数	患者	家族
総数	1	45	19	26	45	19	26
神経系	1	45	19	26	45	19	26
膠原系	-	-	-	-	-	-	-
消化器系	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-

(7) ホームレス保健サービス支援事業

愛知県ホームレス自立支援対策等実施計画に基づき、保健所は春日井市及び小牧市の要請に応じて、支援事業を実施している。今年度は春日井市、小牧市からの支援要請はなかった。

表 ホームレス保健サービス支援事業実施状況

(令和4年度)

対象者数		6
保健指導数 (延人員)	訪問指導	0
	面接指導	0
	電話相談	0
	計	0
健康実態調査	実人員	0
	延人員	0
健康診断受診者数(実人員)		0
関係機関連携件数(延件数)		0

\*対象者数については、各年1月の調査数とする。

(8) 保健師活動

保健所では、地域保健グループは地区分担制で結核・難病・小児慢性特定疾病児童を中心に訪問を行っており、こころの健康推進グループは精神の訪問を行っている。

表 訪問指導

(令和4年度)

		保健所	市			
			計	春日井市	小牧市	
被 訪 問 延 人 員	総 数	430 ( 0 )	1,378	602	776	
	感 染 症 ( 結 核 を 除 く 。 )	0 ( 0 )	2	2	0	
	結 核		328 ( 0 )	0	0	0
		DOTS(再掲)	275 ( 0 )	0	0	0
	精 神 保 健 福 祉	40 ( 0 )	114	6	108	
	成 人・ 高 齢 者 保 健	個 別 健 康 教 育	0 ( 0 )	0	0	0
		要 指 導 者	0 ( 0 )	10	8	2
		閉 じ こ も り 予 防	0 ( 0 )	2	0	2
		介 護 家 族 者	0 ( 0 )	2	0	2
		ね た き り 者	0 ( 0 )	0	0	0
認 知 症 の 者		0 ( 0 )	30	0	30	
介 護 予 防 事 業		0 ( 0 )	1	0	1	
特 定 保 健 指 導		0 ( 0 )	0	0	0	
そ の 他	0 ( 0 )	21	17	4		
難 病	48 ( 0 )	0	0	0		
母 子 保 健	妊 婦	0 ( 0 )	47	20	27	
	産 婦	0 ( 0 )	177	140	37	
	乳 児	新 生 児	0 ( 0 )	108	71	37
		未 熟 児	0 ( 0 )	24	11	13
		そ の 他	0 ( 0 )	315	112	203
	幼 児	4 ( 0 )	344	110	234	
そ の 他	10 ( 0 )	134	58	76		
そ の 他	公 害 保 健	0 ( 0 )	0	0	0	
	そ の 他	0 ( 0 )	47	47	0	
再 掲	虐 待	乳 幼 児 ・ 児 童	0	6	4	2
		障 害 者 ・ 児	0	0	0	0
		高 齢 者	0	18	18	0
		そ の 他	0	4	0	4
D	V	0	1	1	0	
健 康 危 機 管 理		0	0	0	0	
長 期 療 養 児		14	8	6	2	
発 達 障 害 児		0	3	0	3	

(注) ( )は市町村支援再掲

(9) 精神保健福祉

精神保健福祉業務には、精神障害者支援のための精神保健福祉対策と、自殺・ひきこもり問題に対処するメンタルヘルス対策とがある。

精神保健福祉対策としては、管内各市や各関係機関と連絡会議を持ち、それぞれの役割を確認しながら保健所の事業を推進するとともに、個別支援のためにケース会議に参加し、関係機関と連携を図った。

メンタルヘルス対策としては、新型コロナウイルス感染症対策のため各種事業等が実施できない状況ではあったが、自殺未遂やひきこもり問題に関する関係機関の相談を受け、連携して対応にあたる等の個別支援に注力した。

ア 精神保健福祉対策

表1の① 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の規定による申請等の状況

(令和4年度)

	申請等処理状況		今年度処理状況					今年度末現在通報等未処理件数
	昨年度末現在通報等未処理件数	今年度申請通報届出受理件数	調査により診察の必要がないと認められた者	精神障害者				
				1次診察のみ実施	2次診察実施		法第29条該当症状の者	
					法第29条該当症状でなかった者	措置以外の入院		入院以外の処遇
一般からの申請(第22条)	0	0	0	0	0	0	0	0
警察官からの通報(第23条)	0	69	46	0	22	1	0	0
検察官からの通報(第24条)	0	7	0	0	5	0	2	0
保護観察所の長からの通報(第25条)	0	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設の長からの通報(第26条)	0	11	11	0	0	0	0	0
精神病院の管理者からの届出(第26条の2)	0	0	0	0	0	0	0	0
心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報(第26条の3)	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	87	57	0	27	1	2	0
都道府県知事の職務による診察(第27条第2項)				0	0	0	0	

表1の② 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律29条の2(緊急措置入院)の状況(令和4年度)

	総数	総数の内訳		緊急措置入院の必要ありと診察された者のその後の処遇		
		緊急措置入院の必要なしと診察された者	緊急措置入院の必要ありと診察された者	措置入院	措置入院以外の入院	入院以外の処遇
診察を受けた者	28	5	23	22	1	0

	総数の内訳							
	第22条	第23条	第24条	第25条	第26条	第26条の2	第26条の3	第27条第2項
診察を受けた者	0	28	0	0	0	0	0	0

表1の③ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律29条第1項の規定による措置患者の状況(令和4年度)

	前年度末患者数	本年度中新規患者数	本年度中解除患者数	本年度末患者数
措置患者	10	27	30	7

表1の④ 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく移送状況(令和4年度)

措置診察のための移送(第27条)	0
措置入院のための移送件数(第29条の2の2)	4
医療保護入院のための移送件数(第34条)	1

表2 自立支援医療(精神通院)受給者・精神保健福祉手帳所持者状況

(令和4年末)

	把握状況計	率(人口万対比)		アルツハイマー病型認知症	血管性認知症	左記以外の症状性を含む器質性精神障害	アルコール使用による精神及び行動の障害	覚せい剤による精神及び行動の障害	アルコール、覚せい剤を除く精神作用物質使用による精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害	気分(感情)障害	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	成人のパーソナリティ及び行動の障害	精神遅滞	心理的発達の障害	小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	てんかん	その他	不明	
		管内	※4愛知県																		
総数	10,852	239.1	230.4	584	32	307	89	14	16	1,776	4,730	929	37	43	61	989	470	529	0	246	
年齢別	20歳未満	638	14.1	/	2	0	1	0	0	14	74	53	2	2	6	284	135	64	0	1	
	20歳～40歳未満	3,050	67.2	/	4	0	23	5	3	313	1,345	334	19	18	25	471	233	207	0	49	
	40歳～65歳未満	5,136	113.1	/	20	2	100	59	9	14	1,088	2,658	491	16	22	24	227	97	194	0	115
	65歳以上	2,028	44.7	/	558	30	183	25	2	1	361	653	51	0	1	6	7	5	64	0	81
※1自立支援医療(精神通院)患者(単独)	5,102	112.4	/	209	5	34	64	8	7	399	2,775	679	11	26	42	189	266	388	0	0	
※2手帳保持者(単独)	1,310	28.9	/	241	19	147	10	1	0	193	120	19	3	2	1	249	45	14	0	246	
自立支援医療(精神通院)患者かつ手帳保持者	4,440	97.8	/	134	8	126	15	5	9	1,184	1,835	231	23	15	18	551	159	127	0	0	

※1 自立支援医療(精神通院)患者(単独) = 自立支援医療(精神通院)利用者で精神保健福祉手帳を保持していない者

※2 手帳保持者(単独) = 精神保健福祉手帳保持者で自立支援医療(精神通院)を申請していない人

障害年金の申請により精神保健福祉手帳を発行し病名が解らない人は不明に計上

※3 令和2年末より措置入院患者、医療保護入院患者を削除した集計に変更

※4 「愛知県」は名古屋市・中核市を除く

表3 精神保健福祉相談状況

① 年齢別

(令和4年度)

取扱者	延 人 員										
	総数	10歳以下	11-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-74歳	75歳以上	不明
総数	1,630	3	95	217	310	278	360	162	122	81	2

分室分も含む

② 診断名別(延人員の内訳)

(令和4年度)

取扱者	総数	F0	F1				F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	不明	その他	ゲーム(再掲)
		器質性精神障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害				性統合失調症・妄想障害	気分(感情)障害	トストレス関連障害・ス	行動的要因に連した	害成人のパーソナリ	(知的遅滞)	心理的発達の障害	動に小児期及び青年期			
総数	1,630	37	47	47	7	8	604	177	55	2	25	31	127	24	278	161	4
精神保健福祉相談員	1,267	31	23	27	7	6	474	111	43	1	19	28	104	14	246	133	3
保健師	350	6	19	19	0	2	130	65	12	1	6	3	21	10	29	27	1
医師等	18	0	6	1	0	0	2	1	0	0	0	0	2	0	3	3	0

分室分も含む

③ 相談内容別(延人員の内訳)

(令和4年度)

取扱者	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	うつ・うつ状態	摂食障害	てんかん	その他	計	再掲					
														ひきこもり	発達障害	自殺	自死遺児	犯罪被害	災害
総数	67	271	66	25	3	4	23	297	95	0	2	777	1,630	70	15	85	0	1	0
精神保健福祉相談員	54	256	40	19	2	3	15	247	67	0	1	563	1,267	61	10	66	0	1	0
保健師	13	16	21	5	1	1	7	47	28	0	1	210	350	9	4	18	0	0	0
医師等	0	1	6	1	0	0	1	3	0	0	0	6	18	0	1	1	0	0	0

分室分も含む

表4 訪問指導状況

① 年齢別

(令和4年度)

取扱者	延 人 員										
	総数	10歳以下	11-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-64歳	65-74歳	75歳以上	不明
総数	325	0	18	51	57	66	73	18	11	31	0

表6 精神保健福祉普及活動等状況

(令和4年度)

	講演会・講習会		関係機関連絡会議・事例検討会	
	開催回数 (回)	参加延人員 (人)	開催回数 (回)	参加延人員 (人)
一 般	0	0	0	0
精神障害者の社 会 復 帰	0	0	23	181
老 人	0	0	0	0
アルコール問題	0	0	0	0
青 少 年	0	0	0	0
ボ ラ ン テ ィ ア	0	0	0	0
市 町 村	0	0	0	0

表7 精神保健福祉関係会議等実施状況

(令和4年度)

事業名	開催月日	内 容	参加人員
地域精神保健福祉推進協議会 (書面開催)	令和5年 2月10日(金)	春日井保健所管内の精神保健福祉活動の状況、精神障害者の地域移行支援事業の推進について等	16
尾張北部圏域精神障害者地域 移行支援コア機関チーム会議 (オンライン開催)	令和5年 2月17日(金)	令和3年度までの事業説明について 令和4年度の活動状況等	22

※地域精神保健福祉推進協議会、精神障害者の地域移行・地域定着に関係する会議等、精神保健福祉に関係する会議の開催状況を記載すること(事例検討会は除く)

表8 精神障害に関する広報普及活動実施状況

(令和4年度)

開催月日	内 容	対象人員
令和4年9月	2市商工会議所等において、自殺予防啓発のキャンペーングッズを配布し、普及啓発を行った。	300
令和4年9月	2市商工会議所等において、アルコール健康障害対策のリーフレットを配布し、普及啓発を行った。	200
令和5年3月	春日井市と共催で自殺予防啓発資材を街頭キャンペーンで配布、および保健所来所者への配布。	600

※普及啓発資材の配布等、広報普及活動の実施状況を記載すること(表6で計上した講演会、講習会等は除く)

表9 精神保健福祉関係講演会等実施状況

(令和4年度)

事業名	開催月日	内 容	参加人員
精神障害者家族教室	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化のため中止	—

※精神保健福祉家族教室、精神保健福祉ボランティア養成講座等の精神保健福祉に関する外部講師による講演会の実施状況を記載すること

② 診断名別(延人員の内訳)

(令和4年度)

取扱者	総数	F0	F1				F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	不明	その他	ゲーム(再掲)
		器質性精神障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害				性統合失調症・妄想	気分(感情)障害	トレス関連障害・ス	行動的要因に連した	害成人のパーソナリ	(知的障害)	心理的発達の障害	動・情緒の障害			
		アルコール	覚醒剤	有機溶剤	その他												
総数	325	17	3	21	4	7	182	19	16	0	3	9	13	1	18	12	0
精神保健福祉相談員	259	14	1	18	3	4	147	14	13	0	1	7	10	1	15	11	0
保健師	66	3	2	3	1	3	35	5	3	0	2	2	3	0	3	1	0
医師等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③ 相談内容別(延人員の内訳)

(令和4年度)

取扱者	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康づくり	摂食障害	てんかん	その他	計	再掲				
													ひきこもり	自殺	自死遺児	犯罪被害	災害
総数	17	67	3	17	0	0	0	9	0	2	210	325	0	16	1	0	0
精神保健福祉相談員	15	58	1	15	0	0	0	8	0	2	160	259	0	10	1	0	0
保健師	2	9	2	2	0	0	0	1	0	0	50	66	0	6	0	0	0
医師等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

分室分も含む

表5 措置入院者退院後支援事業実施状況 (令和4年度)

支援対象者数(実人数)	38
[上記のうち、年度内に新たに支援対象とした人数]	26
支援会議開催数(延回数)	10

※年度内に支援対象とした全ての人数を記載すること  
(前年度からの継続ケースを含む)

表10 組織育成の状況

(令和4年度)

	患者会	家族会	依存症の自助団体・回復施設	その他
支援件数	-	-	1	-

表11 市町村支援実施状況

(令和4年度)

市町村名	相談 (延件数)	訪問 (延件数)	講演会 講習会等 (回)	関係機関連絡 会議・事例検 討会 (回)	社会復帰教室等 (回)	家族会育成指 導等 (回)
総数	4	0	0	19	0	0
春日井市	1	0	0	5	0	0
小牧市	3	0	0	14	0	0

※市町村支援は、市町村と保健所が共同で実施したもの、又は、市町村が主催したものに保健所が技術支援として参加したものを計上すること

相談、訪問については延人員を記載し、それ以外は実施回数を計上すること。(家族会育成指導等については、表10の再掲とすること。)

表12 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律38条の6に基づく実地指導及び実地審査(令和4年度)

	実地指導	実地審査
件数	3	11

## (10) 自殺・ひきこもり対策

表 1 ネットワーク会議実施状況

(令和 4 年度)

事業名	開催日	内容	参加人員
自殺対策相談窓口ネットワーク会議	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る 保健所体制強化のため中止	—
ひきこもり地域関係機関ネットワーク会議	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る 保健所体制強化のため中止	—

表 2 自殺防止地域力強化事業実施状況

(令和 4 年度)

事業名	開催日	内容等
自殺ハイリスク者支援研修会	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化 のため中止
アルコール健康障害対応研修会	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化 のため中止
自殺未遂者等支援地域連携会議	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化 のため中止
アルコール健康障害対策地域連携 会議	—	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化 のため中止

表 3 家族教室等

(令和 4 年度)

対象者	回数	実人員	延人員
ひきこもり	新型コロナウイルス感染症対策に係る 保健所体制強化のため中止	—	—

表 4 普及啓発等

(令和 4 年度)

内容	講演会・講習会		関係機関連絡会議・事例検討会	
	開催回数	参加延人員	開催回数	参加延人員
うつ・自殺関係	—	—	—	—
ひきこもり関係	—	—	—	—

愛知県春日井保健所

事業概要

令和5年度

発行 令和5年8月

編集 愛知県春日井保健所

〒486-0927 春日井市柏井町2丁目31番地

TEL 0568-31-2188

FAX 0568-34-3781